学 生 便 覧

令和7年度入学者用

宇都宮大学大学院地域創生科学研究科
博 士 前 期 課 程

目　　次

Ⅰ. 地域創生科学研究科の概要 1

1. 専攻とプログラム〔学位〕 1
2. 地域創生科学研究科の理念と目的 1
3. 地域創生科学研究科における「地域」 2
4. 専攻・プログラムの概要 2
5. 地域創生科学研究科における「連携・融合」 4
6. 教員組織 6

Ⅱ. 履修と研究 8

1. 修了の要件 8
2. 修業年限 8
3. 研究指導実施体制 9
4. 授業科目の履修方法 10
   （1） 履修科目の届出 10
   （2） 授業時間表 10
   （3） 教育方法の特例措置（夜間・休日開講） 10
   （4） シラバス 10
   （5） 履修方法 10
   （6） 成績評価方法 35
   （7） 教育職員免許状の取得について 36
5. 修士論文の審査，及び最終試験 36
6. 研究倫理について 37
7. Advanced　Learning　＋　1　の履修について 38
8. ダイバーシティ地域共創プログラムの履修について 40
9. 諸手続きと相談 44

Ⅲ. 関係諸規定 44

1. 宇都宮大学大学院学則 44
2. 宇都宮大学学生生活規程 44
3. 宇都宮大学学位規程 44
4. 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科細則 44
5. 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科の研究指導体制等に関する内規 44
6. 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科博士前期課程の学位論文等の審査等に関する内規 44

7. 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科博士前期課程の学位審査等の手順及び論文等作成の手引き 44
8. 宇都宮大学大学院長期履修学生規程 44
9. 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科博士前期課程の転専攻等に関する内規 44
10. 宇都宮大学附属図書館規程 44
11. 宇都宮大学附属図書館利用規程 44
12. 宇都宮大学附属図書館利用細則 44
13. 宇都宮大学における研究者等の行動規範 44
14. 研究データ等の保存及び開示の方法等に関する取扱要領 44

IV. 資料 45

１． 教員免許状取得カリキュラム一覧 45

Ⅰ．地域創生科学研究科の概要

1. 専攻とプログラム〔学位〕

○社会デザイン科学専攻　入学定員77名

- コミュニティデザイン学プログラム〔修士(学術)〕
- 農業・農村経済学プログラム〔修士(農学)〕
- 建築学プログラム〔修士(工学)〕
- 土木工学プログラム〔修士(工学)〕
- 農業土木学プログラム〔修士(農学)〕
- グローバル・エリアスタディーズプログラム〔修士(国際学)〕
- 多文化共生学プログラム〔修士(学術)〕
- 地域人間発達支援学プログラム〔修士(学術)〕

○工農総合科学専攻　入学定員258名

- 光工学プログラム〔修士(光工学)〕
- 分子農学プログラム〔修士(分子農学)〕
- 物質環境化学プログラム〔修士(工学)〕
- 農芸化学プログラム〔修士(農学)〕
- 機械知能工学プログラム〔修士(工学)〕
- 情報電気電子システム工学プログラム〔修士(工学)〕
- 農業生産環境保全学プログラム〔修士(農学)〕
- 森林生産保全学プログラム〔修士(農学)〕

2. 地域創生科学研究科の理念と目的

宇都宮大学大学院地域創生科学研究科(博士前期課程)は，文理融合によって地域課題の解決をめざす「地域デザイン科学部(2016年度新設)」を基盤に，既存の4研究科の枠を超え多様な分野が混じり合う創造的な研究環境を整え，2019年4月，社会デザインの創造に関する「社会デザイン科学専攻」(入学定員77名)及びイノベーションの創造に関する「工農総合科学専攻」(入学定員258名)の2専攻をもって開設されました。

本研究科の理念は，“持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献する”ことであり，社会デザインとイノベーションに関する高度な専門知識・技術を身に付けて，学際的な幅広い思考力と実践力を備えて主体的に行動できる高度専門職業人の育成を目的としています。

そのために，3C精神(主体的に挑戦しChallenge，自らを変えChange，社会に貢献するContribution)+1(Creation：創造的思考力・実践力)を基本的考えとして，社会デザインとイノベーションに関する高度な専門的知識・技術，学際的な思考力と実践力及び分野間の連携等を実践するために必要な根源的視野，俯瞰的視野，コミュニケーション能力，行動力等を養成します。

3. 地域創生科学研究科における「地域」

本研究科では,『地域とは，地理的・物理的意味を単位とする特定の空間や範囲を示すものではない。問題意識に応じて設定され，可変的で多様な性格を有するもので，「ローカル／ナショナル／リージョナル／グローバル」の連結関係のなかで構成される。』と定義しています。

具体的には，コミュニティレベルから，都市や地域，国土全体そして国際的なレベルまでを想定し，これらの幅広いフィールドを対象として教育研究を推進します。

4. 専攻・プログラムの概要

＜社会デザイン科学専攻＞

地域社会に関するソフトウェア（コミュニティ，社会制度，文化，政策等）やハードウェア（建築，国土保全，環境等）のデザインに貢献できる高度専門職業人の育成を目的としており，地域社会デザイン，地域デザイン工学，国際社会，多文化共生及び人間発達に関する高度な専門的知識・技術を養成する。

○コミュニティデザイン学プログラム

コミュニティデザイン学の高度な専門知識・技術をコアとし，農業経済学・教育学との学際領域を学修することによって，変化し続ける地域の多様なテーマに柔軟に対応し，学術性を重視しつつ，豊かなコミュニティをデザインする，様々な分野のリーダーとして，地域の現場の実践知を分析し，その知見を地域の現場に還元して，展開する能力を修得する。

○農業・農村経済学プログラム

農業経済学をコアとし，コミュニティデザイン学との学際領域を学修することによって，健康で豊かな国民生活や社会の持続的発展に資する新しい農業・農村のリーダーとして，変化し続ける食料・農業・農村を多面的・総合的にとらえ直すとともに，現場における豊かな知恵・実践や都市との連携・協働関係を高度に分析したうえで，新しくデザインするための高度な専門的知識・技術を修得する。

○建築学プログラム

建築学をコアとし，土木工学・農業土木学との学際領域を学修することによって，建築物から国土基盤に至る多様なスケールで，人間生活及び都市・農業などに渡る広い視野から，住宅・建築を包括的にデザインすることができ，地域の発展を支える専門職業人として，より高度なレベルで快適かつ安全な居住空間を創生するための工学的な高度な専門知識・技術を修得する。

○土木工学プログラム

土木工学をコアとし，建築学・農業土木学との学際領域を学修することによって，建築物から国土基盤に至る多様なスケールで，人間生活及び都市・農業などに渡る広い視野から，社会基盤を包括的にデザインすることができ，地域の発展を支える専門職業人として，良好な社会基盤を創生するための工学的な高度な専門知識・技術を修得する。

○農業土木学プログラム

農業土木学をコアとし，建築学・土木工学との学際領域を学修することによって，建築物から国土基盤に至る幅広い視野から，農業基盤・農村基盤を包括的にデザインすることができ，地域の発展を支える専門職業人として，良好な農業農村基盤を整備するための実践活動を実行するための高度な専門的知識・技術を修得する。

○グローバル・エリアスタディーズプログラム

国際開発や国際協力等に関する高度な専門知識・技術を身に付けて，グローバルな諸問題を理解し解決する能力や，世界各地の政治・社会の多様性等に関する高度な教養，及びグローバルな実務に対応可能な企画・提案能力とコミュニケーション能力を修得する。

○多文化共生学プログラム

現代社会が直面する多文化環境での問題を考え，対応する人材を養成するために，人文社会科学，教育学等の様々な分野の専門的知識・技能を融合的に修得する。

○地域人間発達支援学プログラム

教育学及び関連諸科学の知見による人間の心身やその発達・成長の諸相にかかる高度な学術的専門性を基盤として，子どもや青少年をはじめとする「人・ヒト」の「心とからだ」をテーマとした現代的地域課題に取り組むための企画・開発力，コーディネート力，実践力等を備えた幅広い地域人材を育成するために，教育学，心理学，保健学，芸術学，生活科学等を融合した学際的な能力を修得する。

＜工農総合科学専攻＞

工学分野と農学分野に関するものづくり，食料・農林業・環境を支えるイノベーションの創造やマネジメントに貢献できる高度専門職業人の育成を目的としており，オプト・バイオサイエンス，物質生命化学，機械知能工学，情報電気電子システム工学，農業フィールド科学に関する高度な専門知識・技術を養成する。

○光工学プログラム

光の高度な知識と技術を修得し，光自身が生み出す物理的な現象を理解，制御することにより，次世代のイノベーションに貢献でき，及び光の発する工学的な側面から応用分野の基盤技術を身に付けることや，光を中心とする創造的実践力及び技術力を修得する。

○分子農学プログラム

生物種を超えて共通する遺伝情報の解析技術と，その発現機構を農林水産分野で活用することにより新しい価値を創造できる人材を育成するため，分子レベルの知識を農林水産分野に活かすための高度な専門的知識・技術を融合的に修得する。

○物質環境化学プログラム

化学と生命化学の知識と技術を修得し，材料開発や環境保全技術の問題解決に貢献できる人材を育成するために，工学としての化学工学と農学としての応用微生物学の異分野融合による教育研究の相乗効果を狙いつつ，工業生産に応用できる化学の創造的実践力として物理化学，材料科学，物質工学，環境工学などの高度な専門的知識や技術を修得する。

○農芸化学プログラム

生命化学に関する高度な専門知識を備え，製造業などにおける機能性物質開発や生命化学関連の問題解決に貢献できる人材を育成するために，農学としての応用微生物学と工学としての化学工学の異分野融合による教育研究の相乗効果を狙いつつ，それに加えて生物利用に関する微生物学，食品化学，生理学，生物有機化学などの高度な専門的知識や技術を修得する。

○機械知能工学プログラム

あらゆる産業分野で活躍することのできる能力を身に付けて製造業の基幹技術を担う人材を育成するために，特定の工学技術にとどまることなく，機械工学をベースとしながら高度で幅広い工学知識と技術を修得する。

○情報電気電子システム工学プログラム

情報，電気，電子の各分野の要素技術及びそれらをシステムに統合するための応用展開技術に関する高度な専門知識を修得させると同時に，工学の分野における自立した研究／技術者としての素養及び協調性・説明能力を修得する。

○農業生産環境保全学プログラム

新たな農林業生産の知識・技術を身に付けた農林業生産の次世代を担う人材を育成するために，農業生産環境保全学の高度な専門知識・技術を修得する。

○森林生産保全学プログラム

新たな農林業生産の知識・技術を身に付けた農林業生産の次世代を担う人材を育成するため，森林生産保全学の高度な専門知識・技術を修得する。

5. 地域創生科学研究科における「連携・融合」

連携・融合のためのカリキュラム構築として，持続可能な豊かな地域社会の創生に貢献するために，研究科に共通する学際的思考力と実践力を養成するために「地域創生リテラシー」を，境界領域・異分野の専門知識・技術を養成するために「専門科目」の中に「境界・学際領域科目」を，研究テーマに関連して学位プログラム間の連携・融合を図るため「特別演習」，「特別研究」について，デュアル指導の体制を設けている。

○地域創生リテラシー科目（研究科に共通する高度な学際的思考力・実践力を養成）

「地域創生デザイン＆イノベーション」

：連携・融合のための根源的視野（異分野の学生が混在するグループワーク）

「アカデミックコミュニケーションⅠ」

：高度な学際的思考力とコミュニケーション能力を養成（多様な学生・教員・実務家によるゼミ）

「アカデミックコミュニケーションⅡ」

：高度な学際的思考力とコミュニケーション能力を養成（多様な学生・教員・実務家によるゼミ）

○境界・学際領域科目（境界領域・異分野の専門知識・技術を養成）

□社会デザイン科学専攻

〈コミュニティデザイン学プログラムと農業・農村経済学プログラムにおける連携科目〉

「地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す」

：地域の現状への理解を深め課題に即した包括的な捉え方の基礎を養成

〈グローバル・エリアスタディーズプログラムにおける，多様な課題に貢献する能力を体系的に修得するための科目〉

「グローバル・エリアスタディーズ総合講義」

：日本及び世界各地で発生している諸問題を包括的に理解し，グローバルな観点から社会をデザインするのに必要な専門的知識の基礎を養成

〈多文化共生学プログラムにおける，文化的・社会的多様性の理解し解決する能力を修得するための科目〉

「共生社会論」

：共生社会のあり方を探求していくための基盤となる学術的知識の修得

〈地域人間発達支援学プログラムにおける，地域創造の諸課題と地域支援のあり方について理解を深めるための科目〉

「地域人間発達支援の実際と課題」

：地域人間発達支援に関する現状と課題を学際的に理解

□工農総合科学専攻

〈光工学プログラムと分子農学プログラムにおける連携科目〉

「基礎光学Ⅰ」，「光学基盤技術」，「遺伝子情報解析技術論」，「細胞解析技術論」，「質量分析装置解析技術論」

：オプト・バイオサイエンスの基盤となる理論・技術を修得

〈物質環境化学プログラムと農芸化学プログラムにおける連携科目〉

「バイオデザイン・プロセス学」，「環境分析化学」，「化学システム工学」，「生体超分子化学入門」，「物質プロセス工学」，「分子生理化学」，「界面化学」，「食品機能科学」

：工学(物質環境化学)と農学(農芸化学)との境界領域の分野横断的な創造的実践力を養成

〈機械知能工学プログラムにおける，学際領域強化科目〉

「材料組織評価学」，「生体機械工学」，「マイクロ・ナノ工学」，「メカトロニクス制御」，「生体信号解析学特論」

： 産業の基幹技術である機械工学を基盤として，バイオ・農学分野等との学際領域を強化

〈情報電気電子システム工学プログラムにおける，学際領域強化科目〉

「基礎/発展 電磁気学」，「量子エレクトロニクス」，「エンジニアコーチング」，「情報電気電子システム工学特別講義」

： 情報工学分野・電気電子工学分野及びこれらに隣接する他の工学分野・理学分野の理解の基盤となる学術的知識の修得

〈農業生産環境保全学プログラム及び森林生産保全学プログラムにおける，連携科目〉

「政策課題演習」，「スマート農林業」

： 農林フィールド科学における最新のテクノロジーを駆使した農林業技術の修得と，農林業生産が抱える諸問題を解決する実践力を養成

○デュアル指導体制（研究テーマに関連して学位プログラム間の連携・融合を図る）

専門領域に加えて境界領域・学際領域の素養を身に付けて，幅広い視野や実践力を有する高度専門職業人を養成するため，特別演習，特別研究の研究指導をデュアル指導体制で実施する。具体的には，主指導教員1名と副指導教員2名の3名で構成し，この内，第1副指導教員は学位の専門性を担保するために同じ学位プログラムの教員から，第2副指導教員は，専門分野に対して境界領域や学際領域の観点から学生の研究進捗や専門能力の修得に対して指導を行い，最終的に高度な専門力と実践力を有する人材を育成する。

6. 教員組織

地域創生科学研究科博士前期課程の所属教員については、以下の地域創生科学研究科博士前期課程公式HPに掲載されております。

https://www.utsunomiya-u.ac.jp/grdc/

なお，指導教員等の変更を希望する場合は，事前に現指導教員および変更後指導教員とよく相談のうえ，「宇都宮大学地域創生科学研究科博士前期課程指導教員等変更願」により修学支援課，または陽東学務課まで届け出てください。

令和　　年　　月　　日

宇都宮大学大学院地域創生科学研究科博士前期課程指導教員等変更願

地域創生科学研究科長　殿

所属 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿専攻

職名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿プログラム長

氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

下記のとおり，変更が生じましたので手続き願います。

学　籍　番　号	
学　生　氏　名	

該当欄に☑	区分	変更後	変更前
□	主 指 導 教 員		
□	第 1 副 指 導 教 員		
□	第 2 副 指 導 教 員		
□	研　究　題　目		

（変更理由）

Ⅱ. 履修と研究

1. 修了の要件

地域創生科学研究科博士前期課程にて次の要件を満たし修了した者に，学位が授与されます。(「宇都宮大学学位規程」)

「修士論文を課す場合の修了3要件」

〔1〕. 地域創生リテラシーから6単位以上・専門科目から24単位以上を修得し，合計30単位以上を修得すること。

〔2〕. 修士論文を作成・提出し，審査に合格すること。

〔3〕. 修士論文に関する最終試験に合格すること。

2. 修業年限

標準修業年限は2年です。ただし，次のような特例があります。

◇長期履修学生制度

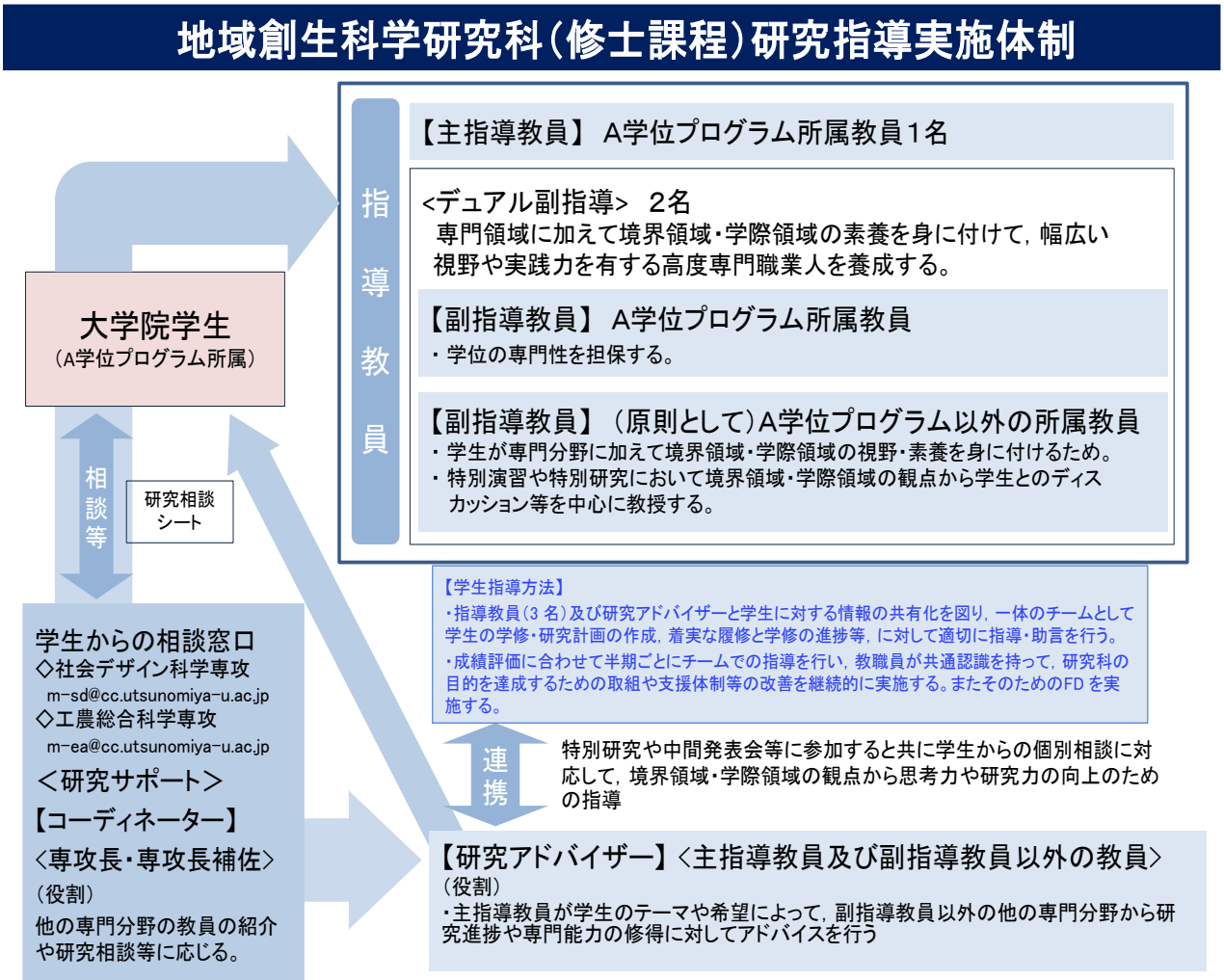
この制度は，職業を有している等の事情により標準修業年限(2年)を超えて，最長4年にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することができる制度です。この制度が適用されている期間(長期履修期間)の授業料の総額は，同一年度入学者と同じになります。例えば，入学者からこの制度を利用して4年間の長期履修期間を設定した場合には，2年間の授業料を4年間に分割して納入します。

長期履修学生制度の対象となる資格や在学期間などについては，「宇都宮大学大学院長期履修学生規程」を参照してください。

3. 研究指導実施体制

指導教員として，主指導教員1名と副指導教員2名が，「研究指導計画書及び研究経過報告書」に則り，学生の研究及び論文指導等と授業科目の履修指導に当たるほか，学生からの研究相談として，研究サポートコーディネーター及び研究アドバイザーを配置しています（下図参照）。

○研究サポートコーディネーター
　指導教員・副指導教員以外の教員への研究・関連研究者の相談の最初の窓口
○研究アドバイザー
　学生からの具体的な相談への対応



○　研究相談シートを作成する際は以下の 6 点を必ず記入すること。
学籍番号 / 所属専攻・学位プログラム名 / 氏名・連絡先 / 主指導教員名・副指導教員名 /
研究テーマ / 相談内容等

4. 授業科目の履修方法

授業科目の履修は，「宇都宮大学大学院学則」及び「宇都宮大学大学院地域創生科学研究科細則」に従って行います。

(1) 履修科目の届出

履修表，授業時間表，及びシラバスを参考にして，指導教員の指導に従い履修科目を決定し，所定の期間内に教務ポータルにアクセスして履修登録を行います。教務ポータルについては，以下の説明を参照してください。その後の履修登録確認期間に教務ポータルから再度アクセスして，自身の履修登録を確認・修正してください。

○ 教務ポータル

本学では，学生向けのポータルサイト（教務ポータル）を開設しています。教務ポータルでは，連絡先の管理や履修登録，授業関連の通知等を行います。教務ポータルは，学内設置のパソコン（学内ネットワーク）からアクセスできます。また，必要に応じ，学外ネットワークからアクセスすることも可能です。

※ 学外ネットワークからアクセスする場合

各自，情報セキュリティの知識を付けるとともに，十分な対策が必要となります。

教務ポータル入口：http://www.utsunomiya-u.ac.jp/usermenu/student.php

(2) 授業時間表

授業時間表には，授業科目名，時間割コード，開講時間，担当教員，教室が記載されています。集中講義の開講情報は教務ポータルの掲示板や，教員からの別途周知によってお知らせいたします。

(3) 教育方法の特例措置（夜間・休日開講）

社会人学生に大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用します。

社会人学生で教育上特別の必要がある場合は，研究計画と履修計画を考慮し，特別の時間帯，土曜日，夏季・冬季休業期間などに授業又は研究指導を行うことがあります。

特例の適用を希望する方は，履修登録期間内に申請書を提出する必要があるため，学務部陽東学務課〔電話028（689）6014〕までお問い合わせください。

(4) シラバス

シラバス（syllabus）は，授業科目の内容，授業方法，評価方法などを解説したもので，教務ポータルから閲覧することができます。履修登録の際には，シラバスを参照して内容などを確認し，自分の勉学の計画，関心に合致した科目を選ぶことが大切です。

(5) 履修方法

次ページより記載する各履修表を参考に履修登録を行ってください。

なお，自身の所属するプログラム以外のプログラムの専門科目を履修する場合は，履修表の後に記載の「他プログラムの授業科目履修届」を修学支援課又は陽東学務課へ提出する必要があります。

※英語対応欄に”☆”印が記入されている科目は，英語での履修を希望する学生に対し特別の対応を実施する準備のある科目です。

社会デザイン科学専攻　地域創生リテラシー　履修表

科目区分			英語対応	授業科目名	単位数	聴講年次	必修	選択		履修方法
								Ⓐ	Ⓑ	
地域創生リテラシー	学際的思考力		☆	地域創生デザイン&イノベーション	1	1前	1			Ⓐ：建築学プログラム，土木工学プログラム，農業土木学プログラムの学生が履修 Ⓑ：コミュニティデザイン学プログラム，農業・農村経済学プログラム，グローバル・エリアスタディーズプログラム，多文化共生学プログラム，地域人間発達支援学プログラムの学生が履修
			☆	アカデミックコミュニケーションⅠ	1	1後	1			
			☆	アカデミックコミュニケーションⅡ	1	2前	1			
		文系科目群		実践経営マネジメント概論	1	1前				
				農業・農村の組織マネジメント	1	1後				
				観光地理学研究	1	1後				
				ソーシャルビジネス論	1	1前				
			☆	防災と国際協力Ⅰ	1	1後				
			☆	環境問題とガバナンスⅠ	1	1後				
			☆	人間の安全保障と国連Ⅰ	1	1前				
			☆	国際人権保障と平和構築Ⅰ	1	1後				
			☆	東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	1	1前				
			☆	ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ	1	1後				
			☆	東アフリカの社会開発と文化Ⅰ	1	1前				
			☆	Political Change and Development in Southeast Asia Ⅰ	1	1前				
				都市と移民・エスニシティⅠ	1	1後				
			☆	感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ	1	1後		1以上		
			☆	アメリカ文化研究Ⅰ	1	1後				
			☆	フランス思想・文化研究Ⅰ	1	1後				
			☆	西洋史研究Ⅰ	1	1前				
				東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ	1	1前				
			☆	多文化教育研究Ⅰ	1	1後				
			☆	シティズンシップ教育Ⅰ	1	1後				
				日本文化研究Ⅰ	1	1後				
			☆	英語学研究Ⅰ	1	1後				
			☆	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	1後				
				西洋近現代哲学研究Ⅰ	1	1前				
				日本語史と日本語研究Ⅰ	1	1後				
				日本語音声学Ⅰ	1	1後				
				技術日本語	1	1前				
		理系科目群	☆	文系のためのオプト・バイオサイエンス入門	1	1後				
			☆	社会現象の数理	1	1後				
				食品機能科学	1	1後				
				メカニカル・エンジニアリング	1	1後			1以上	
			☆	情報電気電子システム工学概論	1	1前				
				博物学史	1	1前				
				文系のためのデータサイエンス	1	1後				
		実践力		実践インターンシップ	2	1･2前後				
				実践フィールドワーク	2	1･2後				
				創成工学プロジェクト演習	2	1前				
				アントレプレナーシップ・プロジェクト演習	2	1前				
			☆	International Political Economy	2	1前		2以上	2以上	
			☆	Sustainable Global Management	2	1前				
				国際インターンシップ	2	1･2前後				
				臨地研究	2	1･2前後				
				共生社会フィールドワーク	2	1･2前後				
計							3	3以上	3以上	

修了要件：６単位以上
●必修科目：３単位
○選択科目：３単位以上（文系科目又は理系科目（プログラムにより指定あり）から１単位、実践力から２単位を必ず修得すること。）

社会デザイン科学専攻 コミュニティデザイン学プログラム 履修表

科目区分			英語対応	授業科目名	単位数	聴講年次	必修	選択		履修方法
地域創生リテラシー科目				（社会デザイン科学専攻 地域創生リテラシー履修表参照）			3	3以上		
境界・学際領域科目	専攻指定科目	◆		地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い,現場に還す	1	1･2前		1	5以上	
				共生社会論	1	1前				
			☆	グローバル・エリアスタディーズ総合講義	1	1前				
				地域人間発達支援の実際と課題	1	1前				
	プログラム指定科目			同専攻他プログラムの専門科目	—	—				
				ダイバーシティ地域共創概論	1	1･2		2		
				ダイバーシティ地域共創最前線	1	1･2				
コミュニティデザイン学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目		政策形成と協働	1	1後		2		
				コミュニティ政策論	1	1後				
				自然共生デザイン論	1	1前				
				福祉経営論	1	1前				
		社会システムデザイン科目		政策分析とガバナンス	1	1前		2		
				会話分析の方法と実践	1	2後				
				地域スポーツ行政論	1	2後				
				地域社会教育論	1	1後				
				地域住民の意識・行動の調査法	1	1後				
				都市と地域の社会学	1	1前				
		地域資源マネジメント科目		地域活動の心理学	1	2前		2		
				合奏による参加型デザイン	1	1後				
				地域食生活論	1	2前				
				農業・農村の組織マネジメント	1	1後				
				観光地理学研究	1	1後				
				コミュニティデザイン学特別演習	4	1～2通	4			
				コミュニティデザイン学特別研究	6	1～2通	6			
計							13	17以上		

修了要件　３０単位以上　（ＧＰＡ　２.０以上とする。）
１．地域創生リテラシー科目から６単位以上
２．境界・学際領域科目及びプログラム専門科目から２４単位以上
●必修科目：１０単位
○選択科目：１４単位以上
(1) 境界・学際領域科目の専攻指定科目の◆の科目から1単位，プログラム指定科目から２単位を必ず修得すること。
(2) プログラム専門科目の基盤科目から２単位，社会システムデザイン科目から２単位，地域資源マネジメント科目から２単位を必ず修得すること。
(3) 次の科目については，指導教員が教育上有益と認め，所定の手続きを経て履修した場合は，３単位以内に限り１４単位に算入することができる。
①他専攻のプログラム科目
②他の大学の大学院（外国の大学院を含む）の授業科目

推奨１：地域人間発達支援学プログラム専門科目「遊びと感情の社会学特論」及び 「共に生きるかたちの心理学」は当プログラムに強く関連づいているため，履修を推奨する。
推奨２：プログラム指定科目から２単位，プログラム専門科目（基盤，社会システムデザイン，地域資源マネジメント）からそれぞれ２単位以上を選択することを推奨する。

社会デザイン科学専攻　農業･農村経済学プログラム　履修表

科目区分			英語対応	授業科目名	単位数	聴講年次	必修	選択		履修方法
地域創生リテラシー科目				（社会デザイン科学専攻 地域創生リテラシー履修表参照）			3	3以上		
境界・学際領域科目	専攻指定科目			地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い,現場に還す	1	1･2前	1			
			☆	グローバル・エリアスタディーズ総合講義	1	1前				
				共生社会論	1	1前				
				地域人間発達支援の実際と課題	1	1前				
	プログラム指定科目			同専攻他プログラムの専門科目	ー	ー				
				ダイバーシティ地域共創概論	1	1･2		1		
				ダイバーシティ地域共創最前線	1	1･2				
農業・農村経済学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目		農業・農村経済学	1	1･2前				
				農政学	1	1･2前				
				農業生産組織論	1	1･2前		3	6以上	
				農法論	1	1･2前				
				農村地理学	1	1･2後				
		応用科目	☆	マーケティング論	1	1･2前				
				ソーシャルビジネス論	1	1･2前				
				統計分析論	1	1後				
				環境経済学	1	1･2前		3		
				フードシステム学	1	1後				
			☆	国際農業経済・経営学	1	1･2前				
				農村金融論	1	1後				
			☆	農業・農村経済学特別演習	4	1～2通	4			
			☆	農業・農村経済学特別研究	6	1～2通	6			
計							14	16以上		

修了要件　３０単位以上　（ＧＰＡ　２.０以上とする。）
１．地域創生リテラシー科目から６単位以上
２．境界・学際領域科目及びプログラム専門科目から２４単位以上
●必修科目：１１単位
○選択科目：１３単位以上
(1) 境界・学際領域科目のプログラム指定科目から１単位を必ず修得すること。
(2) プログラム専門科目の基盤科目から３単位，応用科目から３単位を必ず修得すること。
(3) 次の科目については，指導教員が教育上有益と認め，所定の手続きを経て履修した場合は，
３単位以内に限り１３単位に算入することができる。
①他専攻のプログラム科目
②他の大学の大学院（外国の大学院を含む）の授業科目

社会デザイン科学専攻　建築学プログラム　履修表

科目区分			英語対応	授業科目名	単位数	聴講年次	必修	選択		履修方法
地域創生リテラシー科目				（社会デザイン科学専攻 地域創生リテラシー履修表参照）			3	3以上		
境界・学際領域科目	専攻目指定科目			地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い,現場に還す	1	1･2前				
			☆	グローバル・エリアスタディーズ総合講義	1	1前				
				共生社会論	1	1前				
				地域人間発達支援の実際と課題	1	1前				
	プログラム目指定科目			同専攻他プログラムの専門科目 ※「文系科目群」に登録されている科目を除く	—	—		1		
				他専攻プログラムの専門科目	—	—				
建築学プログラム	プログラム専門科目	基盤応用科目		建築構造学特論Ａ	1	1後		7	6以上	
				建築構造学特論Ｂ	1	1後				
				建築耐震設計特論Ａ	1	1･2前				
				建築耐震設計特論Ｂ	1	1･2前				
				建築構造材料特論Ａ	1	1･2後				
				建築構造材料特論Ｂ	1	1･2後				
			☆	木造建築特論Ａ	1	1･2後				
			☆	木造建築特論Ｂ	1	1･2後				
			☆	既存建築物分析学特論Ａ	1	1･2前				
			☆	既存建築物分析学特論Ｂ	1	1･2前				
			☆	エコロジカル建築特論Ａ	1	1･2前				
			☆	エコロジカル建築特論Ｂ	1	1･2前				
			☆	環境設備特論Ａ	1	1･2前				
			☆	環境設備特論Ｂ	1	1･2後				
			☆	建築設計特論Ａ	1	1･2後				
			☆	建築設計特論Ｂ	1	1･2後				
				建築計画特論Ａ	1	1･2前				
				建築計画特論Ｂ	1	1･2前				
			☆	都市解析特論Ａ	1	1･2前				
			☆	都市解析特論Ｂ	1	1･2前				
			☆	建築インターンシップⅠ	1	1･2前後				
			☆	建築インターンシップⅡ	2	1･2前後				
		実践専門科目	☆	建築インターンシップⅢ	3	1･2前後				インターンシップ系選択科目
			☆	建築インターンシップⅣ	2	1･2前後				
			☆	建築インターンシップⅤ	2	1･2前後				
			☆	建築インターンシップⅥ	2	1･2前後				
				地域デザイン工学プロジェクト	1	1･2前				
				地域デザイン工学インターンシップ	1	1･2前後				
				建築設計演習Ⅰ	2	1･2前後				
				建築設計演習Ⅱ	2	1･2前後				
			☆	建築学特別演習Ⅰ	2	1通	2			
			☆	建築学特別演習Ⅱ	2	2通	2			
			☆	建築学特別研究	6	1～2通	6			必修科目としていずれかを修得
			☆	建築学特別設計	6	1～2通				
計							13	17以上		

修了要件　３０単位以上　（ＧＰＡ　２.０以上とする。）
１．地域創生リテラシー科目から６単位以上
２．境界・学際領域科目及びプログラム専門科目から２４単位以上
●必修科目：１０単位
○選択科目：１４単位以上
(1) 境界・学際領域科目のプログラム指定科目から１単位を必ず修得すること。
(2) プログラム専門科目の基盤応用科目から７単位を必ず修得すること。
(3) 次の科目については，指導教員が教育上有益と認め，所定の手続きを経て履修した場合は，２単位以内に限り１４単位に算入することができる。
①他の大学の大学院（外国の大学院を含む）の授業科目

社会デザイン科学専攻　土木工学プログラム　履修表

科目区分		英語対応	授業科目名	単位数	聴講年次	必修	選択		履修方法
地域創生リテラシー科目			（社会デザイン科学専攻 地域創生リテラシー履修表参照）			3	3以上		
境界・学際領域科目	専攻指定科目		地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い,現場に還す	1	1･2前				選択科目１４単位に算入できる境界・学際領域科目は４単位以内
		☆	グローバル・エリアスタディーズ総合講義	1	1前				
			共生社会論	1	1前				
			地域人間発達支援の実際と課題	1	1前				
	プログラム指定科目		同専攻他プログラムの専門科目 ※「文系科目群」に登録されている科目を除く	—	—				
			他専攻プログラムの専門科目	—	—		1		
			他専攻における境界・学際領域科目 （専攻指定科目のみ）	—	—				
土木工学プログラム	プログラム専門科目	☆	橋梁工学特論	1	1後				
		☆	耐震工学特論	1	1後				
		☆	岩盤力学特論	1	1前				
			地盤力学特論	1	1前				
			土木材料学特論	1	1後				
			エコマテリアル工学特論	1	1後				
		☆	河川工学特論	1	1前		7		
			海岸工学特論	1	1後				
			地圏環境工学特論	1	1後				
			都市計画特論	1	1前				
		☆	都市交通特論	1	2前				
			防災マネジメント特論	1	1前				
			交通工学特論	1	1後				
		☆	土木工学特別演習	4	1～2通	4			
		☆	土木工学特別研究	6	1～2通	6			
計						13	17以上		

修了要件　３０単位以上　（ＧＰＡ　２.０以上とする。）
１．地域創生リテラシー科目から６単位以上
２．境界・学際領域科目及びプログラム専門科目から２４単位以上
●必修科目：１０単位
○選択科目：１４単位以上
(1) 境界・学際領域科目のプログラム指定科目から１単位を必ず修得すること。
ただし，１４単位に算入できる境界・学際領域科目は４単位を上限とする。
(2) プログラム専門科目から７単位を必ず修得すること。
(3) 次の科目については，指導教員が教育上有益と認め，所定の手続きを経て履修した場合は，
３単位以内に限り１４単位に算入することができる。
①他の大学の大学院（外国の大学院を含む）の授業科目

社会デザイン科学専攻　農業土木学プログラム　履修表

科目区分		英語対応	授業科目名	単位数	聴講年次	必修	選択		履修方法
地域創生リテラシー科目			（社会デザイン科学専攻 地域創生リテラシー履修表参照）			3	3以上		
境界・学際領域科目	専攻指定科目		地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い,現場に還す	1	1･2前			7以上	
		☆	グローバル・エリアスタディーズ総合講義	1	1前				
			共生社会論	1	1前				
			地域人間発達支援の実際と課題	1	1前				
	プログラム指定科目		同専攻他プログラムの専門科目 ※「文系科目群」に登録されている科目を除く	—	—		1		
			他専攻プログラムの専門科目	—	—				
			他専攻における境界・学際領域科目 （専攻指定科目のみ）	—	—				
農業土木学プログラム	プログラム専門科目	☆	環境数理Ａ	1	1前		6		隔A：隔年開講 （西暦奇数年度） 隔B：隔年開講 （西暦偶数年度）
		☆	環境数理Ｂ	1	1･2前 隔B				
		☆	土壌環境物理学Ａ	1	1前				
		☆	土壌環境物理学Ｂ	1	1･2前 隔A				
		☆	農地保全学	1	1･2後 隔B				
		☆	農業水利学	1	1後				
		☆	応用田園生態工学Ａ	1	1後				
		☆	応用田園生態工学Ｂ	1	1･2後 隔A				
			地域マネジメントＡ	1	1前				
			地域マネジメントＢ	1	1･2前 隔B				
		☆	農業土木学特別演習	4	1～2通	4			
		☆	農業土木学特別研究	6	1～2通	6			
計						13	17以上		

修了要件　３０単位以上　（ＧＰＡ　２.０以上とする。）
１．地域創生リテラシー科目から６単位以上
２．境界・学際領域科目及びプログラム専門科目から２４単位以上
●必修科目：１０単位
○選択科目：１４単位以上
(1) 境界・学際領域科目のプログラム指定科目から１単位を必ず履修すること。
(2) プログラム専門科目から６単位を必ず修得すること。
(3) 次の科目については，指導教員が教育上有益と認め，所定の手続きを経て履修した場合は，２単位以内に限り１４単位に算入することができる。
①他の大学の大学院（外国の大学院を含む）の授業科目

社会デザイン科学専攻　グローバル・エリアスタディーズプログラム　履修表

科目区分			英語対応	授業科目名	単位数	聴講年次	必修	選択		履修方法
地域創生リテラシー科目				（社会デザイン科学専攻 地域創生リテラシー履修表参照）			3	3以上		
境界・学際領域科目	専攻指定科目		☆	グローバル・エリアスタディーズ総合講義	1	1前	1			
				地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い,現場に還す	1	1･2前			1以上	
				共生社会論	1	1前				
				地域人間発達支援の実際と課題	1	1前				
	プログラム指定科目			同専攻他プログラムの専門科目	—	—		2		指導教員との相談・指導の下、教育・研究上有益と認められる科目に限る。
				他専攻プログラムの専門科目	—	—				
				ダイバーシティ地域共創概論	1	1･2				
				ダイバーシティ地域共創最前線	1	1･2				
グローバル・エリアスタディーズプログラム	プログラム専門科目	基盤科目	☆	防災と国際協力Ⅰ	1	1後		5		指導教員が教育上有益と認め，所定の手続きを経て履修した場合は，他の大学の大学院（外国の大学院を含む）の授業科目を２単位以内に限りプログラム専門科目に算入することができる。
			☆	環境問題とガバナンスⅠ	1	1後				
				情報ネットワークと技術Ⅰ	1	1後				
			☆	人間の安全保障と国連Ⅰ	1	1前				
			☆	国際人権保障と平和構築Ⅰ	1	1後				
			☆	東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	1	1前				
				東アジアの歴史と文化Ⅰ	1	1前				
				日本の自然と地域生活Ⅰ	1	1前				
				アメリカの経済と金融Ⅰ	1	1後				
			☆	ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ	1	1後				
			☆	中東地域の政治と社会Ⅰ	1	1後				
			☆	東アフリカの社会開発と文化Ⅰ	1	1前				
			☆	Globalization and Project Management Ⅰ	1	1後				
			☆	Political Change and Development in Southeast AsiaⅠ	1	1前				
				都市と移民・エスニシティⅠ	1	1後				
		応用科目	☆	防災と国際協力Ⅱ	1	1後		5		
			☆	環境問題とガバナンスⅡ	1	1後				
				情報ネットワークと技術Ⅱ	1	1後				
			☆	人間の安全保障と国連Ⅱ	1	1前				
			☆	国際人権保障と平和構築Ⅱ	1	1後				
			☆	Globalization and Project ManagementⅡ	1	1後				
			☆	東アジアの国際政治と歴史Ⅱ	1	1前				
				東アジアの歴史と文化Ⅱ	1	1前				
				日本の自然と地域生活Ⅱ	1	1前				
				アメリカの経済と金融Ⅱ	1	1後				
			☆	ラテンアメリカの経済と社会Ⅱ	1	1後				
			☆	中東地域の政治と社会Ⅱ	1	1後				
			☆	東アフリカの社会開発と文化Ⅱ	1	1前				
			☆	Political Change and Development in Southeast AsiaⅡ	1	1前				
				都市と移民・エスニシティⅡ	1	1後				
			☆	グローバル・エリアスタディーズ特別演習	4	1～2通	4			
			☆	グローバル・エリアスタディーズ特別研究	6	1～2通	6			
計							14	16以上		

修了要件　３０単位以上　（ＧＰＡ　２.０以上とする。）

１．地域創生リテラシー科目から６単位以上

２．境界・学際領域科目及びプログラム専門科目から２４単位以上

●必修科目：１１単位

○選択科目：１３単位以上

(1) 境界・学際領域科目のプログラム指定科目「同専攻他プログラムの専門科目」，「他専攻プログラムの専門科目」から２単位を必ず修得すること。

(2) プログラム専門科目の基盤科目から５単位，応用科目から５単位を必ず修得すること。

(3) (2) にかかわらず，次の科目については，指導教員が教育上有益と認め，所定の手続きを経て履修した場合は，２単位以内に限りプログラム専門科目に算入することができる。

①他の大学の大学院（外国の大学院を含む）の授業科目

社会デザイン科学専攻　多文化共生学プログラム　履修表

科目区分			英語対応	授業科目名	単位数	聴講年次	必修	選択		履修方法
地域創生リテラシー科目				（社会デザイン科学専攻 地域創生リテラシー履修表参照）			3	3以上		
境界・学際領域科目	専攻指定科目			地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い,現場に還す	1	1･2前			6以上	
			☆	グローバル・エリアスタディーズ総合講義	1	1前				
				共生社会論	1	1前	1			
				地域人間発達支援の実際と課題	1	1前				
	プログラム指定科目			グローバル・エリアスタディーズプログラムの専門科目	―	―				
				ダイバーシティ地域共創概論	1	1･2		1		
				ダイバーシティ地域共創最前線	1	1･2				
多文化共生学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目	☆	現代英語研究Ⅰ	1	1前		2		
			☆	感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ	1	1後				
				文化人類学基礎講読Ⅰ	1	1前				
				日本の文化と文学研究Ⅰ	1	1前				
				ヨーロッパ表象文化研究Ⅰ	1	1後				
			☆	多文化教育研究Ⅰ	1	1後				
		応用科目		言語文化と言語発達Ⅰ	1	1前		4		
				言語文化と言語発達Ⅱ	1	1前				
			☆	現代英語研究Ⅱ	1	1後				
			☆	感情コミュニケーションと社会的共生Ⅱ	1	1後				
				日本表象文化研究Ⅰ	1	1前				
				日本表象文化研究Ⅱ	1	1前				
			☆	多文化教育研究Ⅱ	1	1後				
				国際交流と日本語教育Ⅰ	1	1前				
				国際交流と日本語教育Ⅱ	1	1前				
			☆	アメリカ文化研究Ⅰ	1	1後				
			☆	アメリカ文化研究Ⅱ	1	1後				
			☆	イギリス文化研究Ⅰ	1	2前				
			☆	イギリス文化研究Ⅱ	1	2前				
				フランス思想・文化研究Ⅰ	1	1後				
				フランス思想・文化研究Ⅱ	1	1後				
			☆	西洋史研究Ⅰ	1	1前				
			☆	西洋史研究Ⅱ	1	1前				
				性と人権論Ⅰ	1	1前				
				性と人権論Ⅱ	1	1前				
				東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ	1	1前				
				東アジア比較文学比較文化研究Ⅱ	1	1前				
				人権と法Ⅰ	1	1後				
				人権と法Ⅱ	1	1後				
			☆	シティズンシップ教育Ⅰ	1	1後				
			☆	シティズンシップ教育Ⅱ	1	1後				
				日本文学研究Ⅰ	1	1後				
				日本文学研究Ⅱ	1	1後				
				日本文化研究Ⅰ	1	1後				
				日本文化研究Ⅱ	1	1後				
				日本の文化と文学研究Ⅱ	1	1後				
			☆	言語普遍性と英文法研究Ⅰ	1	2前				
			☆	言語普遍性と英文法研究Ⅱ	1	2前				

		☆	英語音声学Ⅰ	1	1後				
		☆	英語音声学Ⅱ	1	1後				
		☆	英語学研究Ⅰ	1	1後				
		☆	英語学研究Ⅱ	1	1後				
		☆	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	1後				
		☆	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	1後				
			芸術学研究Ⅰ	1	1後				
			芸術学研究Ⅱ	1	1後				
			音楽創作文化研究Ⅰ	1	1後				
			音楽創作文化研究Ⅱ	1	1後				
			西洋近現代哲学研究Ⅰ	1	1前				
			西洋近現代哲学研究Ⅱ	1	1前				
			日本史研究Ⅰ	1	1後				
			日本史研究Ⅱ	1	1後				
			ヨーロッパ表象文化研究Ⅱ	1	2後				
			日本語史と日本語研究Ⅰ	1	1後				
			日本語史と日本語研究Ⅱ	1	1後				
			グローバル時代の学校教育Ⅰ	1	2前				
			グローバル時代の学校教育Ⅱ	1	2前				
			日本語史研究の諸問題Ⅰ	1	1前				
			日本語史研究の諸問題Ⅱ	1	1前				
			日本語音声学Ⅱ	1	1後				
		☆	多文化共生学特別演習	4	1～2通	4			
		☆	多文化共生学特別研究	6	1～2通	6			
計						14	16以上		

修了要件　３０単位以上　（ＧＰＡ　２.０以上とする。）
１．地域創生リテラシー科目から６単位以上
２．境界・学際領域科目及びプログラム専門科目から２４単位以上
●必修科目：１１単位
○選択科目：１３単位以上
(1) 境界・学際領域科目のプログラム指定科目から１単位を必ず修得すること。
(2) プログラム専門科目の基盤科目から２単位，応用科目から４単位を必ず修得すること。
(3) 次の科目については，指導教員が教育上有益と認め，所定の手続きを経て履修した場合は，２単位以内に限り１３単位に算入することができる。
①境界・学際領域科目のプログラム指定科目以外の本専攻の他のプログラム科目及び他専攻のプログラム科目
②他の大学の大学院（外国の大学院を含む）の授業科目

社会デザイン科学専攻　地域人間発達支援学プログラム　履修表

科目区分			英語対応	授業科目名	単位数	聴講年次	必修	選択		履修方法
地域創生リテラシー科目				（社会デザイン科学専攻 地域創生リテラシー履修表参照）			3	3以上		
境界・学際領域科目	専攻指定科目			地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い,現場に還す	1	1･2前			6以上	
			☆	グローバル・エリアスタディーズ総合講義	1	1前				
				共生社会論	1	1前				
				地域人間発達支援の実際と課題	1	1前	1			
	プログラム指定科目			コミュニティデザイン学プログラムの基盤科目	—	—		1		
				農業・農村経済学プログラムの基盤科目	—	—				
				グローバル・エリアスタディーズプログラムの基盤科目	—	—				
				多文化共生学プログラムの基盤科目	—	—				
				ダイバーシティ地域共創概論	1	1･2				
				ダイバーシティ地域共創最前線	1	1･2				
地域人間発達支援学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目		人間発達支援方法論	2	1前		2		
				社会的思考支援論	2	1後				
				生涯発達支援論	2	1前				
				共に生きるかたちの心理学特論	2	1後				
				ヘルスプロモーション特論	2	1後				
				生活環境創造支援論	2	1前				
				地域アートマネジメント（美術）	2	1前				
				地域アートマネジメント（音楽）	2	1後				
		応用科目	☆	認知心理的支援論	2	1後		4		
				遊びと感情の社会学特論	2	1･2前				
				地域環境システム論	2	1･2後				
				衣環境学特論	2	1･2前				
			☆	食環境学特論	2	1･2後				
				生活経営支援論	2	1･2後				
				消費者教育支援論	2	1･2後				
				健康管理支援論	2	1･2後				
				身体科学特論	1	1･2前				
				運動発達特論	2	1･2前				
				身体運動学演習	1	1･2後				
				スポーツ指導支援論	1	1･2後				
				生涯身体発達支援論	2	1･2前				
				情報コミュニケーション演習	2	1･2前				
				情報科学技術特論	2	1･2後				
			☆	科学コミュニケーション演習	2	1･2後				
			☆	造形表現支援演習	2	1･2後				
				平面表現技法分析論	2	1･2後				
				地域デザインプロジェクト	2	1･2前				
				舞台芸術分析論	2	1･2後				
				音声デザイン支援論	2	1･2前				
			☆	サウンド・コラボレーション	2	1･2前				
			☆	外国語コミュニケーション演習	2	1･2後				
			☆	外国語教授法特論	2	1･2前				
				論理表現コミュニケーション演習	2	1･2後				
				地域人間発達支援学特別演習	4	1～2通	4			
				地域人間発達支援学特別研究	6	1～2通	6			
計							14	16以上		

修了要件　３０単位以上　（ＧＰＡ　２．０以上とする。）
１．地域創生リテラシー科目から６単位以上
２．境界・学際領域科目及びプログラム専門科目から２４単位以上
●必修科目：１１単位
○選択科目：１３単位以上
(1) 境界・学際領域科目のプログラム指定科目から１単位を必ず修得すること。
(2) プログラム専門科目の基盤科目から２単位，応用科目から４単位を必ず修得すること。
(3) 次の科目については，指導教員が教育上有益と認め，所定の手続きを経て履修した場合は，２単位以内に限り１３単位に算入することができる。
①境界・学際領域科目のプログラム指定科目以外の本専攻の他のプログラム科目及び他専攻のプログラム科目
②他の大学の大学院（外国の大学院を含む）の授業科目

工農総合科学専攻　地域創生リテラシー　履修表

科目区分			英語対応	授業科目名	単位数	聴講年次	必修	選択	履修方法
地域創生リテラシー	学際的思考力		☆	地域創生デザイン&イノベーション	1	1前	1		
			☆	アカデミックコミュニケーションⅠ	1	1後	1		
			☆	アカデミックコミュニケーションⅡ	1	2前	1		
		文系科目群		実践経営マネジメント概論	1	1前		1以上	
				農業・農村の組織マネジメント	1	1後			
				観光地理学研究	1	1後			
				ソーシャルビジネス論	1	1前			
			☆	防災と国際協力Ⅰ	1	1後			
			☆	環境問題とガバナンスⅠ	1	1後			
			☆	人間の安全保障と国連Ⅰ	1	1前			
			☆	国際人権保障と平和構築Ⅰ	1	1後			
			☆	東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	1	1前			
			☆	ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ	1	1後			
			☆	東アフリカの社会開発と文化Ⅰ	1	1前			
			☆	Political Change and Development in Southeast Asia Ⅰ	1	1前			
				都市と移民・エスニシティⅠ	1	1後			
			☆	感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ	1	1後			
			☆	アメリカ文化研究Ⅰ	1	1後			
			☆	フランス思想・文化研究Ⅰ	1	1後			
			☆	西洋史研究Ⅰ	1	1前			
				東アジア比較文学比較文化研究Ⅰ	1	1前			
			☆	多文化教育研究Ⅰ	1	1後			
			☆	シティズンシップ教育Ⅰ	1	1後			
				日本文化研究Ⅰ	1	1後			
			☆	英語学研究Ⅰ	1	1後			
			☆	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	1後			
				西洋近現代哲学研究Ⅰ	1	1前			
				日本語史と日本語研究Ⅰ	1	1後			
				日本語音声学Ⅰ	1	1後			
				技術日本語	1	1前			
	実践力			実践インターンシップ	2	1･2前後		2以上	
				実践フィールドワーク	2	1･2後			
				創成工学プロジェクト演習	2	1前			
				アントレプレナーシップ・プロジェクト演習	2	1前			
			☆	International Political Economy	2	1前			
			☆	Sustainable Global Management	2	1前			
				国際インターンシップ	2	1･2前後			
				臨地研究	2	1･2前後			
				共生社会フィールドワーク	2	1･2前後			
計							3	3以上	

修了要件：６単位以上
●必修科目：３単位
○選択科目：３単位以上（文系科目から１単位、実践力から２単位を必ず修得すること。）

工農総合科学専攻　光工学プログラム　履修表

科目区分			英語対応	授業科目名	単位数	聴講年次	必修	選択		履修方法
地域創生リテラシー科目				（工農総合科学専攻 地域創生リテラシー履修表参照）			3	3以上		
境界・学際領域科目	専攻指定科目	A群	☆	基礎光学Ⅰ	1	1前				
			☆	光学基盤技術	1	1後				
			☆	遺伝子情報解析技術論	1	1前		1		
			☆	細胞解析技術論	1	1前				
			☆	質量分析装置解析技術論	1	1後				
		B群	☆	バイオデザイン・プロセス学	1	1後				
				環境分析化学	1	1後				
				化学システム工学	1	1後				
				生体超分子化学入門	1	1後				
				物質プロセス工学	1	2前				
			☆	分子生理化学	1	2前				
				界面化学	1	2前				
				食品機能科学	1	1後				
			☆	材料組織評価学	2	1前				
				生体機械工学	1	1前				
			☆	マイクロ・ナノ工学	1	1後				
				メカトロニクス制御	2	1後				
				生体信号解析学特論	2	1前				
			☆	基礎／発展　電磁気学	2	1前				
			☆	量子エレクトロニクス	2	1後				
				エンジニアコーチング	1	1前				
				情報電気電子システム工学特別講義	1	1･2後			2以上	
			☆	スマート農林業	1	1後				
			☆	政策課題演習	1	1後				
	プログラム指定科目			同専攻他プログラムの専門科目	—	—				
				他専攻プログラムの専門科目 ※「文系科目群」に登録されている科目を除く	—	—		1		
光工学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目	☆	基礎光学Ⅱ	1	1前				
			☆	波動光学Ⅰ	1	1前		2		
			☆	波動光学Ⅱ	1	1前				
		応用科目	☆	生命分子光工学	2	1･2前				
			☆	光画像処理	2	1･2後				
			☆	光計測	2	1･2前				
			☆	光導波路デバイス	2	1･2後				
			☆	情報光学	2	1･2後				
			☆	光学設計	2	1･2後				
			☆	数理光物理学	2	1･2前		8		
			☆	感性情報処理	2	1･2前				
			☆	先端フォトニクス	2	1･2前				
			☆	光学システム科学	2	1･2後				
			☆	可視化情報工学	2	1･2後				
			☆	画像工学	2	1･2後				
			☆	ディスプレイ工学	2	1･2後				
			☆	光工学特別演習	4	1～2通	4			
			☆	光工学特別研究	6	1～2通	6			
計							13	17以上		

修了要件　３０単位以上　（ＧＰＡ　２．０以上とする。）
１．地域創生リテラシー科目から６単位以上
２．境界・学際領域科目及びプログラム専門科目から２４単位以上
●必修科目：１０単位
○選択科目：１４単位以上
(1) 境界・学際領域科目の専攻指定科目のＡ群から１単位，プログラム指定科目から１単位を必ず修得すること。
(2) プログラム専門科目の基盤科目から２単位，応用科目から８単位を必ず修得すること。
(3) 次の科目については，指導教員が教育上有益と認め，所定の手続きを経て履修した場合は，２単位以内に限り１４単位に算入することができる。
①他の大学の大学院（外国の大学院を含む）の授業科目

工農総合科学専攻　分子農学プログラム　履修表

科目区分			英語対応	授業科目名	単位数	聴講年次	必修	選択		履修方法
地域創生リテラシー科目				（工農総合科学専攻 地域創生リテラシー履修表参照）			3	3以上		
境界・学際領域科目	専攻指定科目	A群	☆	基礎光学Ⅰ	1	1前		1	7以上	
			☆	光学基盤技術	1	1後				
			☆	遺伝子情報解析技術論	1	1前				
			☆	細胞解析技術論	1	1前				
			☆	質量分析装置解析技術論	1	1後				
		B群	☆	バイオデザイン・プロセス学	1	1後				
				環境分析化学	1	1後				
				化学システム工学	1	1後				
				生体超分子化学入門	1	1後				
				物質プロセス工学	1	2前				
			☆	分子生理化学	1	2前				
				界面化学	1	2前				
				食品機能科学	1	1後				
			☆	材料組織評価学	2	1前				
				生体機械工学	1	1前				
			☆	マイクロ・ナノ工学	1	1後				
				メカトロニクス制御	2	1後				
				生体信号解析学特論	2	1前				
			☆	基礎／発展　電磁気学	2	1前				
			☆	量子エレクトロニクス	2	1後				
				エンジニアコーチング	1	1前				
				情報電気電子システム工学特別講義	1	1･2後				
			☆	スマート農林業	1	1後				
			☆	政策課題演習	1	1後				
	プログラム指定科目			光工学プログラムの専門科目	—	—		2		
				農芸化学プログラムの専門科目	—	—				
				農業生産環境保全学プログラムの専門科目	—	—				
分子農学プログラム	プログラム専門科目		☆	植物分子保護学	2	1･2後		4		
			☆	植物分子遺伝育種学	2	1･2後				
			☆	分子植物生理学	2	1･2前				
			☆	分子進化生態学	2	1･2後				
			☆	動物分子生理学	2	1･2前				
			☆	動物生殖遺伝学	2	1･2後				
			☆	分子農学特別演習	4	1～2通	4			
			☆	分子農学特別研究	6	1～2通	6			
計							13	17以上		

修了要件　３０単位以上　（ＧＰＡ　２.０以上とする。）
１．地域創生リテラシー科目から６単位以上
２．境界・学際領域科目及びプログラム専門科目から２４単位以上
●必修科目：１０単位
○選択科目：１４単位以上
(1) 境界・学際領域科目の専攻指定科目のＡ群から１単位，プログラム指定科目から２単位を必ず修得すること。
(2) プログラム専門科目から４単位を必ず修得すること。
(3) 次の科目については，指導教員が教育上有益と認め，所定の手続きを経て履修した場合は，５単位以内に限り１４単位に算入することができる。
①境界・学際領域科目のプログラム指定科目以外の本専攻の他のプログラム科目及び他専攻のプログラム科目
②他の大学の大学院（外国の大学院を含む）の授業科目

工農総合科学専攻　物質環境化学プログラム　履修表

科目区分			英語対応	授業科目名	単位数	聴講年次	必修	選択		履修方法
地域創生リテラシー科目				（工農総合科学専攻 地域創生リテラシー履修表参照）			3	3以上		
境界・学際領域科目	専攻指定科目	A群	☆	基礎光学Ⅰ	1	1前			7以上	
			☆	光学基盤技術	1	1後				
			☆	遺伝子情報解析技術論	1	1前				
			☆	細胞解析技術論	1	1前				
			☆	質量分析装置解析技術論	1	1後				
		B群	☆	バイオデザイン・プロセス学	1	1後		2		
				環境分析化学	1	1後				
				化学システム工学	1	1後				
				生体超分子化学入門	1	1後				
				物質プロセス工学	1	2前				
			☆	分子生理化学	1	2前				
				界面化学	1	2前				
				食品機能科学	1	1後				
		C群	☆	材料組織評価学	2	1前				
				生体機械工学	1	1前				
			☆	マイクロ・ナノ工学	1	1後				
				メカトロニクス制御	2	1後				
				生体信号解析学特論	2	1前				
			☆	基礎／発展　電磁気学	2	1前				
			☆	量子エレクトロニクス	2	1後				
				エンジニアコーチング	1	1前				
				情報電気電子システム工学特別講義	1	1･2後				
			☆	スマート農林業	1	1後				
			☆	政策課題演習	1	1後				
	プログラム指定科目			専攻指定科目Ａ群及びＣ群に記載の科目	—	—		1		
				他専攻における境界・学際領域科目 （専攻指定科目のみ）	—	—				
物質環境化学プログラム	プログラム専門科目			物理化学要論	2	1前		4		
				分子構造化学	2	1前				
				分子機能化学	2	1後				
				物質・環境工学	2	1後				
			☆	物質環境化学特別演習	4	1～2通	4			
			☆	物質環境化学特別研究	6	1～2通	6			
計							13	17以上		

修了要件　３０単位以上　（ＧＰＡ　２.０以上とする。）
１．地域創生リテラシー科目から６単位以上
２．境界・学際領域科目及びプログラム専門科目から２４単位以上
●必修科目：１０単位
○選択科目：１４単位以上
(1) 境界・学際領域科目の専攻指定科目のＢ群から２単位，プログラム指定科目から１単位を必ず修得すること。
(2) プログラム専門科目から４単位を必ず修得すること。
(3) 次の科目については，指導教員が教育上有益と認め，所定の手続きを経て履修した場合は，３単位以内に限り１４単位に算入することができる。
①本専攻の他のプログラム科目及び境界・学際領域科目のプログラム指定科目以外の他専攻のプログラム科目
②他の大学の大学院（外国の大学院を含む）の授業科目

工農総合科学専攻　農芸化学プログラム　履修表

科目区分			英語対応	授業科目名	単位数	聴講年次	必修	選択		履修方法
地域創生リテラシー科目				（工農総合科学専攻 地域創生リテラシー履修表参照）			3	3以上		
境界・学際領域科目	専攻指定科目	A群	☆	基礎光学Ⅰ	1	1前			7以上	
			☆	光学基盤技術	1	1後				
			☆	遺伝子情報解析技術論	1	1前				
			☆	細胞解析技術論	1	1前				
			☆	質量分析装置解析技術論	1	1後				
		B群	☆	バイオデザイン・プロセス学	1	1後		2		
				環境分析化学	1	1後				
				化学システム工学	1	1後				
				生体超分子化学入門	1	1後				
				物質プロセス工学	1	2前				
			☆	分子生理化学	1	2前				
				界面化学	1	2前				
				食品機能科学	1	1後				
		C群	☆	材料組織評価学	2	1前				
				生体機械工学	1	1前				
			☆	マイクロ・ナノ工学	1	1後				
				メカトロニクス制御	2	1後				
				生体信号解析学特論	2	1前				
			☆	基礎／発展　電磁気学	2	1前				
			☆	量子エレクトロニクス	2	1後				
				エンジニアコーチング	1	1前				
				情報電気電子システム工学特別講義	1	1･2後				
			☆	スマート農林業	1	1後				
			☆	政策課題演習	1	1後				
	プログラム指定科目			専攻指定科目Ａ群及びＣ群に記載の科目	—	—		1		
農芸化学プログラム	プログラム専門科目			フロンティア農芸化学	2	1前				
			☆	生理活性物質化学	2	1前		4		
			☆	栄養生理化学	2	2前				
			☆	植物機能化学（令和8年度より廃止予定）	2	1後				
			☆	農芸化学特別演習	4	1～2通	4			
			☆	農芸化学特別研究	6	1～2通	6			
計							13	17以上		

修了要件　３０単位以上　（ＧＰＡ　２.０以上とする。）

１．地域創生リテラシー科目から６単位以上

２．境界・学際領域科目及びプログラム専門科目から２４単位以上

●必修科目：１０単位

○選択科目：１４単位以上

(1) 境界・学際領域科目の専攻指定科目のＢ群から２単位，プログラム指定科目から１単位を必ず修得すること。

(2) プログラム専門科目から４単位を必ず修得すること。

(3) 次の科目については，指導教員が教育上有益と認め，所定の手続きを経て履修した場合は，３単位以内に限り１４単位に算入することができる。

①本専攻の他のプログラム科目及び他専攻のプログラム科目

②他の大学の大学院（外国の大学院を含む）の授業科目

工農総合科学専攻 機械知能工学プログラム 履修表

科目区分			英語対応	授業科目名	単位数	聴講年次	必修	選択		履修方法
地域創生リテラシー科目				（工農総合科学専攻 地域創生リテラシー履修表参照）			3	3以上		
境界・学際領域科目	専攻指定科目	A群	☆	基礎光学Ⅰ	1	1前			7以上	
			☆	光学基盤技術	1	1後				
			☆	遺伝子情報解析技術論	1	1前				
			☆	細胞解析技術論	1	1前				
			☆	質量分析装置解析技術論	1	1後				
			☆	バイオデザイン・プロセス学	1	1後				
				環境分析化学	1	1後				
				化学システム工学	1	1後				
				生体超分子化学入門	1	1後				
				物質プロセス工学	1	2前				
			☆	分子生理化学	1	2前				
				界面化学	1	2前				
				食品機能科学	1	1後				
		B群	☆	材料組織評価学	2	1前		2		
				生体機械工学	1	1前				
			☆	マイクロ・ナノ工学	1	1後				
				メカトロニクス制御	2	1後				
				生体信号解析学特論	2	1前				
		C群	☆	基礎／発展　電磁気学	2	1前				
			☆	量子エレクトロニクス	2	1後				
				エンジニアコーチング	1	1前				
				情報電気電子システム工学特別講義	1	1･2後				
			☆	スマート農林業	1	1後				
			☆	政策課題演習	1	1後				
	定指ムラグ			専攻指定科目Ａ群及びＣ群に記載の科目	—	—		1		
機械知能工学プログラム	プログラム専門科目			実験流体力学	2	1後		4		
				生産技術工学	1	1前				
				先端精密加工学	2	1後				
				成形プロセス工学	2	1前				
			☆	力学系理論	1	1前				
				動的システム解析	1	1後				
				ロボット技術	1	1後				
				知能ロボット	2	1後				
			☆	幾何数理機械工学	1	1前				
			☆	機械知能工学特別演習	4	1～2通	4			
			☆	機械知能工学特別研究	6	1～2通	6			
計							13	17以上		

修了要件　３０単位以上　（ＧＰＡ　２.０以上とする。）
１．地域創生リテラシー科目から６単位以上
２．境界・学際領域科目及びプログラム専門科目から２４単位以上
●必修科目：１０単位
○選択科目：１４単位以上
(1) 境界・学際領域科目の専攻指定科目のＢ群から２単位，プログラム指定科目から１単位を必ず修得すること。
(2) プログラム専門科目から４単位を必ず修得すること。
(3) 次の科目については，指導教員が教育上有益と認め，所定の手続きを経て履修した場合は，２単位以内に限り１４単位に算入することができる。
①本専攻の他のプログラム科目及び他専攻のプログラム科目
②他の大学の大学院（外国の大学院を含む）の授業科目

工農総合科学専攻　情報電気電子システム工学プログラム　履修表

科目区分			英語対応	授業科目名	単位数	聴講年次	必修	選択		履修方法
地域創生リテラシー科目				（工農総合科学専攻 地域創生リテラシー履修表参照）			3	3以上		
境界・学際領域科目	専攻指定科目	A群	☆	基礎光学Ⅰ	1	1前			4以上	
			☆	光学基盤技術	1	1後				
			☆	遺伝子情報解析技術論	1	1前				
			☆	細胞解析技術論	1	1前				
			☆	質量分析装置解析技術論	1	1後				
			☆	バイオデザイン・プロセス学	1	1後				
				環境分析化学	1	1後				
				化学システム工学	1	1後				
				生体超分子化学入門	1	1後				
				物質プロセス工学	1	2前				
			☆	分子生理化学	1	2前				
				界面化学	1	2前				
				食品機能科学	1	1後				
			☆	材料組織評価学	2	1前				
				生体機械工学	1	1前				
			☆	マイクロ・ナノ工学	1	1後				
				メカトロニクス制御	2	1後				
				生体信号解析学特論	2	1前				
		B群	☆	基礎／発展　電磁気学	2	1前		2		
			☆	量子エレクトロニクス	2	1後				
				エンジニアコーチング	1	1前				
				情報電気電子システム工学特別講義	1	1･2後				
		C群	☆	スマート農林業	1	1後				
			☆	政策課題演習	1	1後				
	プログラム指定科目			同専攻他プログラムの専門科目 （指導教員との相談・指導の下，教育・研究上有益と認められる科目に限る。）	—	—		2		
情報電気電子システム工学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目	☆	数理科学特論	2	1前				
			☆	数理解析特論	2	1後				
			☆	非線形解析特論	2	1前				
			☆	応用数学特論	2	1後				
		基盤要素技術科目	☆	ソフトウェア特論	2	1後		6		
			☆	音声言語情報処理	2	1後				
			☆	ディジタル画像工学	2	1後				
				音響情報工学	2	1後				
			☆	情報量統計学	2	1前				
			☆	超伝導エレクトロニクス	2	1前				
			☆	スピントロニクス	2	1後				
				光制御回路工学	2	1前				
				マイクロ波・ミリ波回路工学	2	1前				
			☆	レーザー工学	2	1前				
			☆	電気自動車	2	1前				
			☆	アドバンストパワーエレクトロニクス	2	1前				
			☆	ロバスト制御理論	2	1前				
			☆	材料物性の量子論	2	1前				
			☆	電子材料工学特論	2	1後				
				代数学と暗号理論	2	1後				

				最適制御理論	2	1後			
				光と物質の科学	1	1通			
				情報ネットワーク特論	2	1前			
			☆	計算機アーキテクチャ特論	2	1前			
			☆	スマートシティーテクノロジー	1	1後			
				大規模システム最適化	2	1前			
				システムバイオロジー	2	1後			
			☆	画像復元処理特論	2	1前			
				感性情報処理システム	2	1前			
				コンピュータグラフィックス特論	2	1後			
				ネットワークコンピューティング特論	2	1後			
			☆	情報電気電子システム工学特別演習	4	1～2通	4		
			☆	情報電気電子システム工学特別研究	6	1～2通	6		
計							13	17以上	

修了要件　３０単位以上　（ＧＰＡ　２.０以上とする。）

１．地域創生リテラシー科目から６単位以上

２．境界・学際領域科目及びプログラム専門科目から２４単位以上

●必修科目：１０単位

○選択科目：１４単位以上

(1) 境界・学際領域科目の専攻指定科目のＢ群から２単位，プログラム指定科目から２単位を必ず修得すること。

(2) プログラム専門科目の基盤科目，基盤要素技術科目・システム応用技術科目から６単位を必ず修得すること。

(3) 次の科目については，指導教員が教育上有益と認め，所定の手続きを経て履修した場合は，２単位以内に限り１４単位に算入することができる。

①他専攻のプログラム科目

②他の大学の大学院（外国の大学院を含む）の授業科目

工農総合科学専攻　農業生産環境保全学プログラム　履修表

科目区分		英語対応	授業科目名	単位数	聴講年次	必修	選択		履修方法
地域創生リテラシー科目			（工農総合科学専攻 地域創生リテラシー履修表参照）			3	3以上		
境界・学際領域科目	専攻指定科目	☆	基礎光学Ⅰ	1	1前			5以上	
		☆	光学基盤技術	1	1後				
		☆	遺伝子情報解析技術論	1	1前				
		☆	細胞解析技術論	1	1前				
		☆	質量分析装置解析技術論	1	1後				
		☆	バイオデザイン・プロセス学	1	1後				
			環境分析化学	1	1後				
			化学システム工学	1	1後				
			生体超分子化学入門	1	1後				
			物質プロセス工学	1	2前				
		☆	分子生理化学	1	2前				
			界面化学	1	2前				
			食品機能科学	1	1後				
		☆	材料組織評価学	2	1前				
			生体機械工学	1	1前				
		☆	マイクロ・ナノ工学	1	1後				
			メカトロニクス制御	1	1後				
			生体信号解析学特論	2	1前				
		☆	基礎／発展　電磁気学	2	1前				
		☆	量子エレクトロニクス	2	1後				
			エンジニアコーチング	1	1前				
			情報電気電子システム工学特別講義	1	1･2後				
		☆	スマート農林業	1	1後				
		☆	政策課題演習	1	1後	1			
	プログラム指定科目		同専攻他プログラムの専門科目	—	—		1		
			他専攻プログラムの専門科目 ※「文系科目群」に登録されている科目を除く	—	—				
農業生産環境保全学プログラム	プログラム専門科目	☆	園芸作物生理学	1	1前		7		
		☆	園芸フィールド生理学	1	1前				
			作物品種改良学	1	1後				
		☆	防除分子生態学	1	1後				
			生物とウイルスの関係学	1	1後				
		☆	動物行動管理学	1	1後				
		☆	動物形態学	1	1前				
			ヒトと動物の関係学	1	1後				
		☆	植生管理学	1	1前				
			雑草管理・検疫学	1	1後				
		☆	野生動物管理学	1	1前				
		☆	生物生産環境情報工学	1	1前				
		☆	生物環境調節学	1	1後				
			生物生産機械学	1	1後				
		☆	生物環境システム工学	1	1後				
			食品流通工学	1	1前				
		☆	生産流通システム工学	1	1後				
			植物生産環境学	1	1後				
		☆	農林フィールド土壌化学	1	1前				

			農業生産環境保全学特別講義	1	1通				
			農業生産環境保全学特別講義Ⅲ	1	1通				
		☆	農業生産環境保全学特別演習	4	1～2通	4			
		☆	農業生産環境保全学特別研究	6	1～2通	6			
計						14	16以上		

修了要件　３０単位以上　（ＧＰＡ　２．０以上とする。）
１．地域創生リテラシー科目から６単位以上
２．境界・学際領域科目及びプログラム専門科目から２４単位以上
●必修科目：１１単位
○選択科目：１３単位以上
(1) 境界・学際領域科目のプログラム指定科目から１単位を必ず修得すること。
(2) プログラム専門科目から７単位を必ず修得すること。
(3) 次の科目については，指導教員が教育上有益と認め，所定の手続きを経て履修した場合は，３単位以内に限り１３単位に算入することができる。
①他の大学の大学院（外国の大学院を含む）の授業科目

工農総合科学専攻　森林生産保全学プログラム　履修表

科目区分			英語対応	授業科目名	単位数	聴講年次	必修	選択		履修方法
地域創生リテラシー科目				（工農総合科学専攻 地域創生リテラシー履修表参照）			3	3以上		
境界・学際領域科目	専攻指定科目		☆	基礎光学Ⅰ	1	1前				
			☆	光学基盤技術	1	1後				
			☆	遺伝子情報解析技術論	1	1前				
			☆	細胞解析技術論	1	1前				
			☆	質量分析装置解析技術論	1	1後				
			☆	バイオデザイン・プロセス学	1	1後				
				環境分析化学	1	1後				
				化学システム工学	1	1後				
				生体超分子化学入門	1	1後				
				物質プロセス工学	1	2前				
			☆	分子生理化学	1	2前				
				界面化学	1	2前				
				食品機能科学	1	1後				
			☆	材料組織評価学	2	1前				
				生体機械工学	1	1前				
			☆	マイクロ・ナノ工学	1	1後				
				メカトロニクス制御	2	1後				
				生体信号解析学特論	2	1前				
			☆	基礎／発展　電磁気学	2	1前				
			☆	量子エレクトロニクス	2	1後				
				エンジニアコーチング	1	1前			4以上	
				情報電気電子システム工学特別講義	1	1･2後				
			☆	スマート農林業	1	1後	1			
			☆	政策課題演習	1	1後	1			
	プログラム指定科目			同専攻他プログラムの専門科目	—	—				
				他専攻プログラムの専門科目 ※「文系科目群」に登録されている科目を除く	—	—		1		
森林生産保全学プログラム	プログラム専門科目	基盤科目	☆	森林生産学	1	1前	1			
			☆	森林管理政策学	1	1前	1			
			☆	森林工学	1	1前	1			
		応用科目		森林環境制御学	1	1前				
			☆	比較森林政策学	1	1前				
				森林管理計画学	1	1前				
			☆	森林作業システム学	1	1前				
			☆	森林植物学	1	1後		4		
			☆	森林経済学	1	1後				
				森林資源管理学	1	1前				
				森林生産保全学特別講義Ⅰ	1	1通				
				森林生産保全学特別講義Ⅱ	1	1通				
				森林生産保全学特別講義Ⅲ	1	1通				
				森林生産保全学特別演習	4	1～2通	4			
				森林生産保全学特別研究	6	1～2通	6			
計							18	12以上		

修了要件　３０単位以上　（ＧＰＡ　２．０以上とする。）
１．地域創生リテラシー科目から６単位以上
２．境界・学際領域科目及びプログラム専門科目から２４単位以上
●必修科目：１５単位
○選択科目：９単位以上
(1) 境界・学際領域科目のプログラム指定科目から１単位を必ず修得すること。
(2) プログラム専門科目の応用科目から４単位を必ず修得すること。

年　　月　　日

地域創生科学研究科長　殿

申 請 者
所　　属　地域創生科学研究科
専　攻　名
プログラム名
学 籍 番 号
ふ り が な
氏　　名

他プログラムの授業科目履修届

宇都宮大学大学院地域創生科学研究科細則に基づき、下記のとおり届け出ます。

記

修了単位とする授業科目等

授 業 科 目 名	単位数	開講プログラム名	指導教員 確　認	授業担当 教員確認

（6）成績評価方法

成績評価方法については，シラバスに記載され，また授業科目担当教員からも説明があります。授業科目，担当教員によって成績の評価方法が異なりますから注意してください。

成績は，上位の評語から順に次の評語で示されます。

秀，　優，　良，　可，　不可，　履不

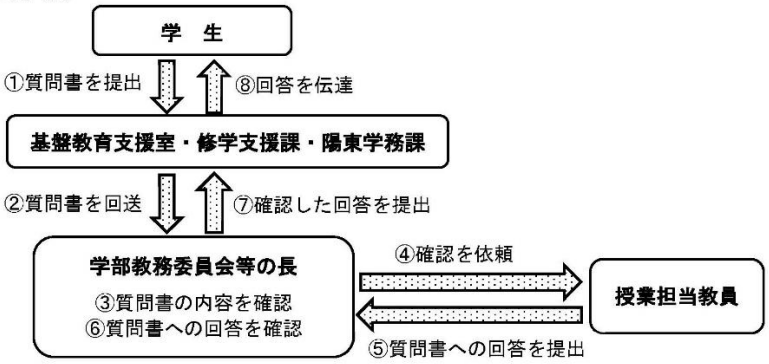
可以上が合格で，単位を修得できます。履不の場合は，科目担当教員に相談いただき，一定の水準に達したと認められた場合，可以上に成績が修正され，単位を修得できます。

また，成績は奨学金貸与，授業料免除などの選考の際に用いられます。

成績評価に対する質問・疑問、異議申立ての流れ

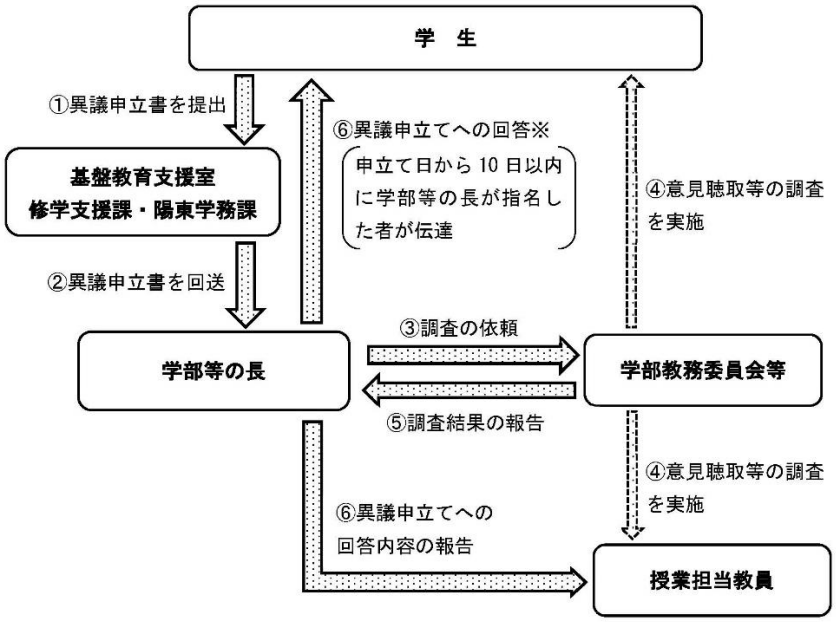
1．成績評価に対して質問・疑問がある場合

教務ポータルでの成績開示日から１週間以内に「授業科目の成績評価に対する質問書」を提出する。



2．「１」で回答を受けてもなお異議がある場合

前期開講科目は後期授業開始日から１週間以内、後期開講科目は翌年度前期授業開始日から１週間以内に「授業科目の成績評価に対する異議申立書」を提出する。



※⑥の回答に対して、再度、「授業科目の成績評価に対する異議申立書」を提出することはできない。

【質問書及び申立書の提出先】
- 基盤教育科目：基盤教育支援室
- データサイエンス経営学部・国際学部・共同教育学部・教育学部・農学部専門科目、教育学研究科科目：修学支援課
- 地域デザイン科学部・工学部専門科目、地域創生科学研究科科目：陽東学務課

（7）教育職員免許状の取得について

所用基礎資格（中学校教諭・高等学校教諭一種免許状）を有し，本研究科において，教育職員免許法及び同法施行規則に定める所定の授業科目を履修した者は，中学校教諭，高等学校教諭専修免許状を取得することができます。

各専攻で取得できる専修免許状の種類及び教科は次のとおりです。

（カリキュラムの詳細は巻末資料「教員免許状取得カリキュラム一覧」に記載しています。）

＜社会デザイン科学専攻＞

○中学校教諭専修免許状（国語・社会・音楽・美術・保健体育・家庭・英語）

○高等学校教諭専修免許状（国語・地理歴史・公民・音楽・美術・保健体育・家庭・農業・英語）

＜工農総合科学専攻＞

○中学校教諭専修免許状（理科）

○高等学校教諭専修免許状（理科・農業・工業）

5. 修士論文の審査，及び最終試験

修士論文の作成には標準で2年を要します。1年次から2年次にかけての作成過程を以下に示します。

〔1〕 入学当初に，主指導教員の指導のもとに研究計画（研究目的，研究内容，研究方法）を立てます。

〔2〕 特別研究，特別設計などの履修を1年次，2年次に行い，修士論文又の研究成果をまとめる指導を受けます。また，その研究成果については，学会，研究会などで発表することが奨励されています。

〔3〕 主指導教員の指導のもとで，修士論文の題目を決定して，指定された期日までに研究科長に提出します。

〔4〕 修士論文は，指定された期日までに主指導教員を経て研究科長に提出します。

〔5〕 修士論文の審査は，主指導教員1名と第1副指導教員1名（同じ専門分野），第2副指導教員1名（原則として他の学位プログラム教員）に，審査委員長（主査）として選出された同じ専門分野の教員1名を加えた4名の教員が行います。修士論文が「合」と認められたときには，最終試験として，修士論文の内容を中心とした最終試験が行われます。

【大学院学位論文等評価基準　地域創生科学研究科（博士前期課程）】

（評価基準）

下記1～4の評価項目すべてについて，修士学位論文として水準に達していると認められるものを合格とする。

（評価項目）

1.研究目的，意義，独創性について

・研究目的とその意義が学術的あるいは社会的に貢献をなすものであり，先行研究あるいは関連研究をふまえた上で研究の内容または方法に先駆性・独創性が認められる。

2.研究の方法について

・研究方法が適切に選択され，研究が実施されている。

3.論証方法と結論について

・設定した課題に対する論証が適切になされた上で，結論が導出されている。

・用語や概念の使用，表現及び論旨が正確であり，論証が適切である。

4.論文の形式，体裁について

・専門分野で汎用されている論文形式を参考にして，目次，章構成，引用，図表等の形式や体裁が適切である。

6. 研究倫理について

大学院生の修士論文等の研究では，「研究」に本格的に取り組むことになります。研究は，社会のためのものであって，人に対して，自然に対して，誠実でなければなりません。社会に認められる研究であるべきです。みなさん自身が，研究の在り方，進め方について，自らを律するガイドラインである『研究（者）倫理』を守ることが求められます。『研究（者）倫理』を守って，新たな世界にチャレンジしてください。

研究の開始前に，日本学術振興会のホームページ（https://elcore.jsps.go.jp/top.aspx）に用意されている『研究（者）倫理』の学習ための「研究倫理ｅラーニングコース（ e-Learning Course on Research Ethics ）[eL CoRE]」を必ず受講してください。修了すると修了証書が得られますので，C-Learning の「研究倫理」より提出してください。

また，別ページ（https://www.jsps.go.jp/j-kousei/rinri.html）にはテキスト版の教材がありますので，併せて参考にしてください。

『研究（者）倫理』のポイントは，以下の3点です。

〔1〕研究活動の不正行為の防止

捏造・改ざん・盗用などの不正防止，分野毎に定められた研究規範の遵守，その他の不正行為（重複投稿・他研究者の妨害行為・アカハラ・不適切なオーサーシップ）の禁止，知的財産の保護　など

〔2〕 研究活動に関する説明責任／情報請求に関する準備

研究データの一定期間保存・実験ノートによる整理された記録など。（自分自身を守るため，少なくとも研究ノートに記録を残し，自分で研究したことを証明するための記録を残しましょう。）

〔3〕 研究費の不正使用の防止

私的なものを除けば，ほとんどの研究が広い意味で公的な資金で運用されています。国のお金（元は税金），会社のお金（株主・役員・社員の財産），財団のお金（公的に使用する前提で税に関する優遇措置を受けている）などです。学生も，国や財団，企業からのお金で研究を遂行したり学会への出張参加・発表などをすることもあります。研究費の不正利用防止にも気をつけてください。

7. Advanced Learning ＋ 1 の履修について

○「雑草鳥獣管理プログラム」

雑草と野生鳥獣によって引き起こされるさまざまな課題をフィールドで解決するための専門知識と実践力を身につけることができます。

〔1〕. 対象学生

大学院生を対象とします。

〔2〕. 履修の届出

履修を希望する者は，学務部修学支援課または学務部陽東学務課窓口で配布する「雑草鳥獣管理プログラム履修申込書」を 1 年次の 5 月末までに，学務部修学支援課または学務部陽東学務課に提出してください。

〔3〕. 修了要件

1) 分野毎に指定された授業科目から，必要単位数以上を修得し，合計 7 単位以上を修得する必要があります。
2) 修了した者には，博士前期課程修了時に「雑草鳥獣管理プログラム修了証書」を発行しますので，学務部修学支援課または学務部陽東学務課に申し出てください。

〔4〕. 履修科目

1) 開講学期は，各科目のシラバスを参考願います。
2) 博士前期課程の修了単位になるかどうかは，自身の所属するプログラム毎に異なります。

〔5〕. その他

本プログラムは，法令等で定められた資格ではありません。本学が定めたプログラムを修了した者に対し，博士前期課程修了時に学習証明書を授与する”Advanced Learing+1”です。

〈分野を構成する科目〉

分　　野	授業科目名	単位数
植生マネジメント （○を付した科目1単位以上を含む， 計3単位以上（あるいは2単位以上））	○雑草管理・検疫学	1
	○植生管理学	1
	森林生産学	1
	森林植物学	1
野生鳥獣管理 （○を付した科目を含む，2単位以上 （あるいは3単位以上））	○野生動物管理学	1
	動物生殖遺伝学	2
	動物行動管理学	1
	ヒトと動物の関係学	1
	動物形態学	1
地域資源開発 （○を付した科目を含む2単位以上）	○農業生産組織論	1
	比較森林政策学	1
	農業・農村の組織マネジメント	1
	自然共生デザイン論	1
	地域マネジメントA	1

〈分野毎に求められる最低単位数〉（○を付した科目は必ず履修すること。）

〔1〕植生マネジメント3単位，野生鳥獣管理2単位，地域資源開発2単位

あるいは

〔2〕植生マネジメント2単位，野生鳥獣管理3単位，地域資源開発2単位

8. ダイバーシティ地域共創プログラムの履修について

本プログラムは茨城大学，常磐大学との単位互換に関する協定に基づくプログラムです。
地域社会や組織内でのダイバーシティ経営や持続可能な地域経済の発展に貢献するための専門知識と実践力を身につけることができます。

〔1〕. 対象学生

大学院生を対象とします。

〔2〕. 履修の届出

履修を希望する者は，コア科目である「ダイバーシティ地域共創概論」及び「ダイバーシティ地域共創最前線」の履修登録をもって代替します。科目の履修手続きについては通常の履修科目の届出と同様に登録を行います。

〔3〕. 修了要件

1) 必修科目および系毎に指定された授業科目から，必要単位数以上を修得し，合計 14 単位以上を修得する必要があります。

2) 14 単位の構成としては、次のとおりです。

ダイバーシティ地域共創プログラム科目種別		必修	選択必修	選択
コア科目	「ダイバーシティ地域共創概論」	1		
	「ダイバーシティ地域共創最前線」	1		
	実践的演習科目（地域創生リテラシー実践力）		2	
プログラム指定科目	ダイバーシティ＆インクルージョン系		4	4～
	地域経済と価値共創系		2	
	メディア戦略とコミュニケーション系			

（各系の科目については別表を参照してください）。

3) 修了した者には，博士前期課程修了時に「ダイバーシティ地域共創教育プログラム修了証」を発行しますので，学務部修学支援課または学務部陽東学務課に申し出てください。

〔4〕. 履修科目

1) 開講学期・時間は，各科目のシラバス及び掲示を参考願います。

2) 博士前期課程の修了単位になるかどうかは，自身の所属するプログラム毎に異なります。

〔5〕. その他

本プログラムは，法令等で定められた資格ではありません。連携本学が定めたプログラムを修了した者に対し，博士前期課程修了時に修了証明書を授与する教育プログラムとなります。

別表

プログラム科目種別		授業科目，単位及び開講プログラム等		
コア科目		ダイバーシティ地域共創概論	1	社会デザイン科学専攻文系プログラム境界・学際領域科目プログラム指定科目
		ダイバーシティ地域共創最前線	1	社会デザイン科学専攻文系プログラム境界・学際領域科目プログラム指定科目
	実践的演習科目	実践インターンシップ	2	地域創生リテラシー実践力
		実践フィールドワーク	2	地域創生リテラシー実践力
		創成工学プロジェクト演習	2	地域創生リテラシー実践力
		アントレプレナーシップ・プロジェクト演習	2	地域創生リテラシー実践力
		International Political Economy	2	地域創生リテラシー実践力
		Sustainable Global Management	2	地域創生リテラシー実践力
		国際インターンシップ	2	地域創生リテラシー実践力
		臨地研究	2	地域創生リテラシー実践力
		共生社会フィールドワーク	2	地域創生リテラシー実践力
プログラム指定科目	ダイバーシティ&インクルージョン系	政策形成と協働	1	コミュニティデザイン学プログラム
		コミュニティ政策論	1	コミュニティデザイン学プログラム
		政策分析とガバナンス	1	コミュニティデザイン学プログラム
		地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム
		地域活動の心理学	1	コミュニティデザイン学プログラム
		地域食生活論	1	コミュニティデザイン学プログラム
		Globalization and Project Management Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		Globalization and Project Management Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		国際人権保障と平和構築Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		国際人権保障と平和構築Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		中東地域の政治と社会Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		中東地域の政治と社会Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		人間の安全保障と国連Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		人間の安全保障と国連Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		東アジアの国際政治と歴史Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		東アジアの歴史と文化Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		東アジアの歴史と文化Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		都市と移民・エスニシティⅠ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		都市と移民・エスニシティⅡ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		Political Change and Development in Southeast Asia Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		Political Change and Development in Southeast Asia Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		性と人権論Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		性と人権論Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		感情コミュニケーションと社会的共生Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		感情コミュニケーションと社会的共生Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		人権と法Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		人権と法Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		日本文学研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		日本文学研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		現代英語研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		現代英語研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		外国にルーツをもつ子ども･青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		外国にルーツをもつ子ども･青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		共生社会論	1	地域デザイン科学専攻境界・学際領域科目

プログラム指定科目	ダイバーシティ&インクルージョン系	音楽創作文化研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		音楽創作文化研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		西洋近現代哲学研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		西洋近現代哲学研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		イギリス文化研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		イギリス文化研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		フランス思想･文化研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		フランス思想･文化研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		英語音声学Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		英語音声学Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		日本文化研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		日本文化研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		アメリア文化研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		アメリカ文化研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		英語学研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		英語学研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		日本史研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		日本史研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		グローバル時代の学校教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		グローバル時代の学校教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		ヨーロッパ表象文化研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		ヨーロッパ表象文化研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		芸術学研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		芸術学研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		言語文化と言語発達Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		言語文化と言語発達Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		日本語史と日本語研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		☒本語史と日本語研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		言語普遍性と英文法研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		言語普遍性と英文法研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		文化人類学基礎講読Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		地域人間発達支援の実際と課題	1	社会デザイン科学専攻境界・学際領域科目
		ヘルスプロモーション特論	2	地域人間発達支援学プログラム
		認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム
		外国語教授法特論	2	地域人間発達支援学プログラム
		生活環境創造支援論	2	地域人間発達支援学プログラム
	地域経済と価値共創系	自然共生デザイン論	1	コミュニティデザイン学プログラム
		観光地理学研究	1	コミュニティデザイン学プログラム
		農業・農村経済学	1	農業・農村経済学プログラム
		農政学	1	農業・農村経済学プログラム
		農業生産組織論	1	農業・農村経済学プログラム
		農法論	1	農業・農村経済学プログラム
		農村地理学	1	農業・農村経済学プログラム
		マーケティング論	1	農業・農村経済学プログラム
		ソーシャルビジネス論	1	農業・農村経済学プログラム
		統計分析論	1	農業・農村経済学プログラム
		環境経済学	1	農業・農村経済学プログラム
		フードシステム学	1	農業・農村経済学プログラム
		国際農業経済・経営学	1	農業・農村経済学プログラム
		農村金融論	1	農業・農村経済学プログラム

プログラム指定科目	地域経済と価値共創系	環境問題とガバナンスⅠ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		環境問題とガバナンスⅡ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		日本の自然と地域生活Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		日本の自然と地域生活Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		東アフリカの社会開発と文化Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		東アフリカの社会開発と文化Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		防災と国際協力Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		防災と国際協力Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		ラテンアメリカの経済と社会Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム
		シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
		シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム
		地域アートマネジメント(音楽)	2	地域人間発達支援学プログラム
		衣環境学特論	2	地域人間発達支援学プログラム
	メディア戦略とコミュニケーション系	会話分析の方法と実践	1	コミュニティデザイン学プログラム
		日本語音声学Ⅰ	1	地域創生リテラシー学際的思考力文系科目群
		日本語音声学Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
		情報コミュニケーション演習	2	地域人間発達支援学プログラム
		情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム
		科学コミュニケーション演習	2	地域人間発達支援学プログラム
		サウンド･コラボレーション	2	地域人間発達支援学プログラム

9. 諸手続きと相談

学生生活に関わる案内（学生生活案内）を宇都宮大学ホームページに掲載しています。

https://www.utsunomiya-u.ac.jp/convenient/

Ⅲ. 関係諸規定

国立大学法人宇都宮大学規程集

https://education.joureikun.jp/utsunomiya_univ/

1. 宇都宮大学大学院学則
2. 宇都宮大学学生生活規程
3. 宇都宮大学学位規程
4. 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科細則
5. 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科の研究指導体制等に関する内規
6. 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科博士前期課程の学位論文等の審査等に関する内規
7. 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科博士前期課程の学位審査等の手順及び論文等作成の手引き
8. 宇都宮大学大学院長期履修学生規程
9. 宇都宮大学大学院地域創生科学研究科博士前期課程の転専攻等に関する内規
10. 宇都宮大学附属図書館規程
11. 宇都宮大学附属図書館利用規程
12. 宇都宮大学附属図書館利用細則
13. 宇都宮大学における研究者等の行動規範
14. 研究データ等の保存及び開示の方法等に関する取扱要領

Ⅳ. 資料

1. 教員免許状取得カリキュラム一覧

＜社会デザイン科学専攻＞

○中学校教諭専修免許状(国語)

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	論理表現コミュニケーション演習	2	地域人間発達支援学プログラム	24
	日本表象文化研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	日本表象文化研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	日本文学研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	日本文学研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	日本語史と日本語研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	日本語史と日本語研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	日本文化研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	日本文化研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	言語文化と言語発達Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	言語文化と言語発達Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	日本語史研究の諸問題Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	日本語史研究の諸問題Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	日本の文化と文学研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	日本の文化と文学研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	日本語音声学Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	

○中学校教諭専修免許状(社会)

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	日本史研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	24
	日本史研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	人権と法Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	人権と法Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	西洋史研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	西洋史研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	西洋近現代哲学研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	西洋近現代哲学研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	フランス思想・文化研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	フランス思想・文化研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	観光地理学研究	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	政策形成と協働	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	政策分析とガバナンス	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	農村地理学	1	農業・農村経済学プログラム	
	地域環境システム論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	環境問題とガバナンスⅠ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	環境問題とガバナンスⅡ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	東アジアの国際政治と歴史Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	東アジアの歴史と文化Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	東アジアの歴史と文化Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	日本の自然と地域生活Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	日本の自然と地域生活Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	アメリカの経済と金融Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	アメリカの経済と金融Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	ラテンアメリカの経済と社会Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	中東地域の政治と社会Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	中東地域の政治と社会Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	東アフリカの社会開発と文化Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	東アフリカの社会開発と文化Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	Political Change and Development in Southeast Asia Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	Political Change and Development in Southeast Asia Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	都市と移民・エスニシティⅠ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	都市と移民・エスニシティⅡ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	

教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム

○中学校教諭専修免許状(音楽)

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	音声デザイン支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	24
	地域アートマネジメント（音楽）	2	地域人間発達支援学プログラム	
	舞台芸術分析論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	サウンド・コラボレーション	2	地域人間発達支援学プログラム	
	音楽創作文化研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	音楽創作文化研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	合奏による参加型デザイン	1	コミュニティデザイン学プログラム	
教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	

○中学校教諭専修免許状(美術)

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	地域アートマネジメント（美術）	2	地域人間発達支援学プログラム	24
	造形表現支援演習	2	地域人間発達支援学プログラム	
	平面表現技法分析論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域デザインプロジェクト	2	地域人間発達支援学プログラム	
	芸術学研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	芸術学研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	

○中学校教諭専修免許状(保健体育)

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	運動発達特論	2	地域人間発達支援学プログラム	24
	健康管理支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	ヘルスプロモーション特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	スポーツ指導支援論	1	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯身体発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	身体運動学演習	1	地域人間発達支援学プログラム	
	身体科学特論	1	地域人間発達支援学プログラム	
	地域スポーツ行政論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	

○中学校教諭専修免許状(家庭)

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	衣環境学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	24
	生活経営支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生活環境創造支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	消費者教育支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	食環境学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域食生活論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	性と人権論Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	性と人権論Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	

○中学校教諭専修免許状(英語)

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	外国語コミュニケーション演習	2	地域人間発達支援学プログラム	24
	外国語教授法特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	英語学研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	英語学研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	現代英語研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	現代英語研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	アメリカ文化研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	アメリカ文化研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	イギリス文化研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	イギリス文化研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	英語音声学Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	英語音声学Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	言語普遍性と英文法研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	言語普遍性と英文法研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	

○高等学校教諭専修免許状(国語)

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	論理表現コミュニケーション演習	2	地域人間発達支援学プログラム	24
	日本表象文化研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	日本表象文化研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	日本文学研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	日本文学研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	日本語史と日本語研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	日本語史と日本語研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	日本文化研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	日本文化研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	言語文化と言語発達Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	言語文化と言語発達Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	日本語史研究の諸問題Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	日本語史研究の諸問題Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	日本の文化と文学研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	日本の文化と文学研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	日本語音声学Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	

○高等学校教諭専修免許状（地理歴史）

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	日本史研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	24
	日本史研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	西洋史研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	西洋史研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	観光地理学研究	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	農村地理学	1	農業・農村経済学プログラム	
	地域環境システム論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	東アジアの歴史と文化Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	東アジアの歴史と文化Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	日本の自然と地域生活Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	日本の自然と地域生活Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	東アフリカの社会開発と文化Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	東アフリカの社会開発と文化Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	Political Change and Development in Southeast Asia Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	Political Change and Development in Southeast Asia Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	

○高等学校教諭専修免許状(公民)

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	人権と法Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	24
	人権と法Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	西洋近現代哲学研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	西洋近現代哲学研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	フランス思想・文化研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	フランス思想・文化研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	政策形成と協働	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	政策分析とガバナンス	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	環境問題とガバナンスⅠ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	環境問題とガバナンスⅡ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	東アジアの国際政治と歴史Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	東アジアの国際政治と歴史Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	アメリカの経済と金融Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	アメリカの経済と金融Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	ラテンアメリカの経済と社会Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	ラテンアメリカの経済と社会Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	中東地域の政治と社会Ⅰ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	中東地域の政治と社会Ⅱ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	都市と移民・エスニシティⅠ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
	都市と移民・エスニシティⅡ	1	グローバル・エリアスタディーズプログラム	
教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	

○高等学校教諭専修免許状(音楽)

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	音声デザイン支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	24
	地域アートマネジメント（音楽）	2	地域人間発達支援学プログラム	
	舞台芸術分析論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	サウンド・コラボレーション	2	地域人間発達支援学プログラム	
	音楽創作文化研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	音楽創作文化研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	合奏による参加型デザイン	1	コミュニティデザイン学プログラム	
教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	

○高等学校教諭専修免許状(美術)

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	地域アートマネジメント（美術）	2	地域人間発達支援学プログラム	24
	造形表現支援演習	2	地域人間発達支援学プログラム	
	平面表現技法分析論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域デザインプロジェクト	2	地域人間発達支援学プログラム	
	芸術学研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	芸術学研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	

○高等学校教諭専修免許状(保健体育)

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	運動発達特論	2	地域人間発達支援学プログラム	24
	健康管理支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	ヘルスプロモーション特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	スポーツ指導支援論	1	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯身体発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	身体運動学演習	1	地域人間発達支援学プログラム	
	身体科学特論	1	地域人間発達支援学プログラム	
	地域スポーツ行政論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	

○高等学校教諭専修免許状(家庭)

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	衣環境学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	24
	生活経営支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生活環境創造支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	消費者教育支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	食環境学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域食生活論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	性と人権論Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	性と人権論Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	

○高等学校教諭専修免許状(農業)

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	農政学	1	農業・農村経済学プログラム	24
	農業生産組織論	1	農業・農村経済学プログラム	
	農村金融論	1	農業・農村経済学プログラム	
	マーケティング論	1	農業・農村経済学プログラム	
	ソーシャルビジネス論	1	農業・農村経済学プログラム	
	統計分析論	1	農業・農村経済学プログラム	
	環境経済学	1	農業・農村経済学プログラム	
	フードシステム学	1	農業・農村経済学プログラム	
	農法論	1	農業・農村経済学プログラム	
	農業・農村経済学特別演習	4	農業・農村経済学プログラム	
	農業・農村経済学特別研究	6	農業・農村経済学プログラム	
	地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い，現場に還す	1	境界・学際領域科目	
	土壌環境物理学Ａ	1	農業土木学プログラム	
	土壌環境物理学Ｂ	1	農業土木学プログラム	
	農地保全学	1	農業土木学プログラム	
	地域マネジメントＡ	1	農業土木学プログラム	
	地域マネジメントＢ	1	農業土木学プログラム	
	農業水利学	1	農業土木学プログラム	
	応用田園生態工学Ａ	1	農業土木学プログラム	
	応用田園生態工学Ｂ	1	農業土木学プログラム	
	農業土木学特別演習	4	農業土木学プログラム	
	農業土木学特別研究	6	農業土木学プログラム	
	地域住民の意識・行動の調査法	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	農業・農村の組織マネジメント	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	自然共生デザイン論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	

○高等学校教諭専修免許状(英語)

免許法 科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修 得単位
教科及び 教科の指 導法に関 する科目	外国語コミュニケーション演習	2	地域人間発達支援学プログラム	24
	外国語教授法特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	英語学研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	英語学研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	現代英語研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	現代英語研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	アメリカ文化研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	アメリカ文化研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	イギリス文化研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	イギリス文化研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	英語音声学Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	英語音声学Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	言語普遍性と英文法研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	言語普遍性と英文法研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
教育の基 礎的理解 に関する 科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	

＜工農総合科学専攻＞

○中学校教諭専修免許状(理科)

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	質量分析装置解析技術論	1	境界・学際領域科目	24
	バイオデザイン・プロセス学	1	境界・学際領域科目	
	環境分析化学	1	境界・学際領域科目	
	化学システム工学	1	境界・学際領域科目	
	物質プロセス工学	1	境界・学際領域科目	
	分子生理化学	1	境界・学際領域科目	
	界面化学	1	境界・学際領域科目	
	食品機能科学	1	境界・学際領域科目	
	分子植物生理学	2	分子農学プログラム	
	動物分子生理学	2	分子農学プログラム	
	フロンティア農芸化学	2	農芸化学プログラム	
	生理活性物質化学	2	農芸化学プログラム	
	栄養生理化学	2	農芸化学プログラム	
	植物機能化学	2	農芸化学プログラム	
	農芸化学特別研究	6	農芸化学プログラム	
	農芸化学特別演習	4	農芸化学プログラム	
教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	

○高等学校教諭専修免許状(理科)

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	質量分析装置解析技術論	1	境界・学際領域科目	24
	バイオデザイン・プロセス学	1	境界・学際領域科目	
	環境分析化学	1	境界・学際領域科目	
	化学システム工学	1	境界・学際領域科目	
	物質プロセス工学	1	境界・学際領域科目	
	分子生理化学	1	境界・学際領域科目	
	界面化学	1	境界・学際領域科目	
	食品機能科学	1	境界・学際領域科目	
	分子植物生理学	2	分子農学プログラム	
	動物分子生理学	2	分子農学プログラム	
	フロンティア農芸化学	2	農芸化学プログラム	
	生理活性物質化学	2	農芸化学プログラム	
	栄養生理化学	2	農芸化学プログラム	
	植物機能化学	2	農芸化学プログラム	
	農芸化学特別研究	6	農芸化学プログラム	
	農芸化学特別演習	4	農芸化学プログラム	
教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	

○高等学校教諭専修免許状(農業)

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	スマート農林業	1	境界・学際領域科目	24
	政策課題演習	1	境界・学際領域科目	
	遺伝子情報解析技術論	1	境界・学際領域科目	
	細胞解析技術論	1	境界・学際領域科目	
	農林フィールド土壌化学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	園芸作物生理学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	園芸フィールド生理学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	作物品種改良学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	防除分子生態学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	生物とウイルスの関係学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	動物行動管理学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	動物形態学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	ヒトと動物の関係学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	植生管理学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	野生動物管理学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	生物生産環境情報工学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	生物環境調節学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	生物生産機械学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	生物環境システム工学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	食品流通工学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	生産流通システム工学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	植物生産環境学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	雑草管理・検疫学	1	農業生産環境保全学プログラム	
	農業生産環境保全学特別研究	6	農業生産環境保全学プログラム	
	農業生産環境保全学特別演習	4	農業生産環境保全学プログラム	
	森林管理政策学	1	森林生産保全学プログラム	
	森林工学	1	森林生産保全学プログラム	
	森林生産学	1	森林生産保全学プログラム	
	森林環境制御学	1	森林生産保全学プログラム	
	比較森林政策学	1	森林生産保全学プログラム	
	森林管理計画学	1	森林生産保全学プログラム	
	森林作業システム学	1	森林生産保全学プログラム	
	森林植物学	1	森林生産保全学プログラム	
	森林経済学	1	森林生産保全学プログラム	
	森林資源管理学	1	森林生産保全学プログラム	
	森林生産保全学特別研究	6	森林生産保全学プログラム	
	森林生産保全学特別演習	4	森林生産保全学プログラム	

	植物分子保護学	2	分子農学プログラム
	植物分子遺伝育種学	2	分子農学プログラム
	分子進化生態学	2	分子農学プログラム
	動物生殖遺伝学	2	分子農学プログラム
	分子農学特別研究	6	分子農学プログラム
	分子農学特別演習	4	分子農学プログラム
教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム

○高等学校教諭専修免許状(工業)

免許法科目区分	授業科目，単位及び開講プログラム等			最低修得単位
教科及び教科の指導法に関する科目	生体機械工学	1	境界・学際領域科目	24
	マイクロ・ナノ工学	1	境界・学際領域科目	
	メカトロニクス制御	2	境界・学際領域科目	
	材料組織評価学	2	境界・学際領域科目	
	波動光学Ⅰ	1	光工学プログラム	
	波動光学Ⅱ	1	光工学プログラム	
	光計測	2	光工学プログラム	
	光導波路デバイス	2	光工学プログラム	
	情報光学	2	光工学プログラム	
	数理光物理学	2	光工学プログラム	
	感性情報処理	2	光工学プログラム	
	先端フォトニクス	2	光工学プログラム	
	光学システム科学	2	光工学プログラム	
	可視化情報工学	2	光工学プログラム	
	ディスプレイ工学	2	光工学プログラム	
	ソフトウェア特論	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	音声言語情報処理	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	ディジタル画像工学	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	音響情報工学	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	情報量統計学	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	超伝導エレクトロニクス	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	電子材料工学特論	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	スピントロニクス	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	光制御回路工学	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	マイクロ波・ミリ波回路工学	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	レーザー工学	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	電気自動車	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	アドバンストパワーエレクトロニクス	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	ロバスト制御理論	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	材料物性の量子論	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	情報ネットワーク特論	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	計算機アーキテクチャ特論	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	スマートシティーテクノロジー	1	情報電気電子システム工学プログラム	
	大規模システム最適化	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	システムバイオロジー	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	画像復元処理特論	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	感性情報処理システム	2	情報電気電子システム工学プログラム	
	コンピュータグラフィックス特論	2	情報電気電子システム工学プログラム	

	ロボット技術	1	機械知能工学プログラム	
	実験流体力学	2	機械知能工学プログラム	
	動的システム解析	1	機械知能工学プログラム	
	生産技術工学	1	機械知能工学プログラム	
	先端精密加工学	2	機械知能工学プログラム	
	成形プロセス工学	2	機械知能工学プログラム	
	力学系理論	1	機械知能工学プログラム	
	知能ロボット	2	機械知能工学プログラム	
	幾何数理機械工学	1	機械知能工学プログラム	
	生体信号解析学特論	2	境界・学際領域科目	
	最適制御理論	2	情報電気電子システム工学	
	物理化学要論	2	物質環境化学プログラム	
	分子構造化学	2	物質環境化学プログラム	
	分子機能化学	2	物質環境化学プログラム	
	物質・環境工学	2	物質環境化学プログラム	
教育の基礎的理解に関する科目	人間発達支援方法論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	社会的思考支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	遊びと感情の社会学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	情報科学技術特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	認知心理的支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	生涯発達支援論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	共に生きるかたちの心理学特論	2	地域人間発達支援学プログラム	
	地域社会教育論	1	コミュニティデザイン学プログラム	
	多文化教育研究Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	多文化教育研究Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	外国にルーツをもつ子ども・青年と教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅰ	1	多文化共生学プログラム	
	シティズンシップ教育Ⅱ	1	多文化共生学プログラム	